取扱説明書

液晶プロジェクター

CP-X8170J
CP-WX8265J
CP-WU8460J

（形名：CP-X8170/CP-WX8265/CP-WU8460）

【技術情報編】

技術情報編では、本機の仕様や通信機能、またエラーメッセージや故障と思われる現象への対処についてご説明します。

ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

技術情報編

もくじ

コンピュータ信号について

対応信号例

解像度（水平 x 垂直）	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	規格	信号モード
720 x 400	37.9	85.0	VESA	TEXT
640 x 480	31.5	59.9	VESA	VGA (60Hz)
640 x 480	37.9	72.8	VESA	VGA (72Hz)
640 x 480	37.5	75.0	VESA	VGA (75Hz)
640 x 480	43.3	85.0	VESA	VGA (85Hz)
800 x 600	35.2	56.3	VESA	SVGA (56Hz)
800 x 600	37.9	60.3	VESA	SVGA (60Hz)
800 x 600	48.1	72.2	VESA	SVGA (72Hz)
800 x 600	46.9	75.0	VESA	SVGA (75Hz)
800 x 600	53.7	85.1	VESA	SVGA (85Hz)
832 x 624	49.7	74.5	―	Mac 16” mode
1024 x 768	48.4	60.0	VESA	XGA (60Hz)
1024 x 768	56.5	70.1	VESA	XGA (70Hz)
1024 x 768	60.0	75.0	VESA	XGA (75Hz)
1024 x 768	68.7	85.0	VESA	XGA (85Hz)
1152 x 864	67.5	75.0	VESA	1152 x 864 (75Hz)
1280 x 768	47.7	60.0	VESA	WXGA(60Hz)
1280 x 800	49.7	60.0	VESA	1280 x 800 (60Hz)
1280 x 960	60.0	60.0	VESA	1280 x 960 (60Hz)
1280 x 1024	64.0	60.0	VESA	SXGA (60Hz)
1280 x 1024	80.0	75.0	VESA	SXGA (75Hz)
1280 x 1024 ＊１	91.1	85.0	VESA	SXGA (85Hz)
1400 x 1050 ＊２	65.2	60.0	VESA	SXGA+ (60Hz)
1440 x 900	55.9	59.9	VESA	WXGA+ (60Hz)
1680 x 1050 ＊３	65.3	60.0	VESA	WSXGA+ (60Hz)
1600 x 1200 ＊１	75.0	60.0	VESA	UXGA (60Hz)
1920 x 1200 ＊４	74.0	60.0	VESA	WUXGA (RB) (60Hz)

＊１：HDMI® 信号については、正しく動作しない場合があります。

＊２：<CP-X8170J のみ >

＊３：<CP-WX8265J 、CP-WU8460J のみ >

＊４：<CP-WU8460J のみ > ただし、HDMI® 信号については、正しく動作しない場合があります。

RB：リデュースドブランキング (Reduced Blanking)

お知らせ

●本機とコンピュータを接続するまえに、端子形状、信号レベル、タイミングや解像度などの適合性をあらかじめご確認ください。

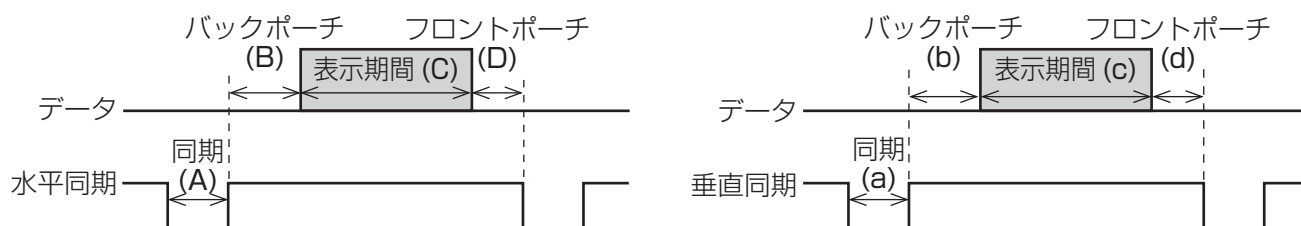
●信号によっては、本機の自動調節機能（📖**1-44**）が正しく働かなかったり、映像を表示できなかったりすることがあります。また、複数ディスプレイ表示モードなど、本機では対応できないモードを含む場合があります。

●入力信号によってはフルサイズで表示されない場合があります。上記の解像度をご参照ください。

● **CP-WU8460J** は W-UXGA(1920 × 1200) 信号まで、**CP-WU8460J** 以外は UXGA(1600 × 1200) 信号まで表示できますが、信号処理の過程で本機の液晶パネルの解像度（📖**1-54**）に変換しています。映像品質は入力信号と本機のパネルの解像度が同じときに最良となります。

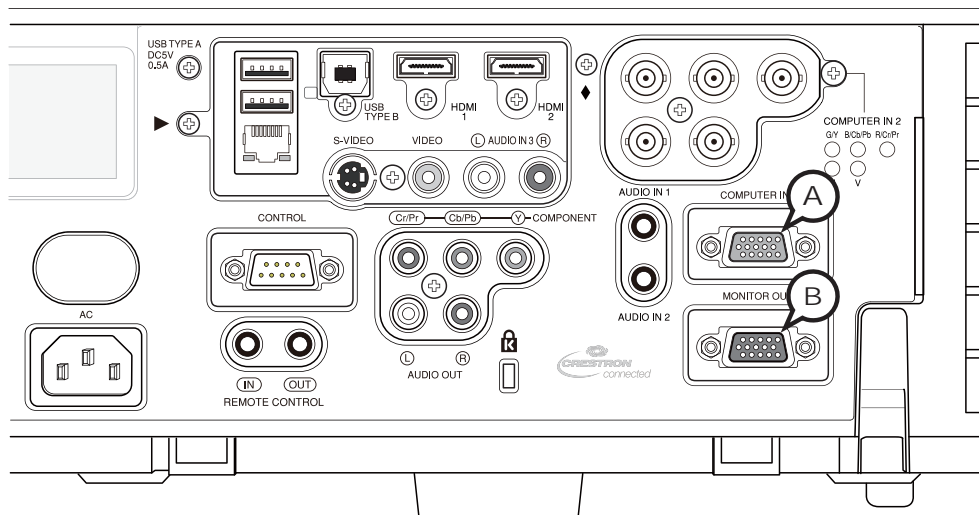
● SYNC ON G、コンポジットシンク信号などの同期信号の場合は、正常に表示できない場合があります。

初期設定信号

本機では下記の信号を初期設定していますが、コンピュータは機種によって信号タイミングが異なる場合があります。必要に応じて「表示」メニューの「垂直位置」(📖2-10)、「水平位置」(📖2-10)の調節を行ってください。

解像度 (水平 x 垂直)	水平信号タイミング (µs)				垂直信号タイミング (ライン数)				信号モード
	(A)	(B)	(C)	(D)	(a)	(b)	(c)	(d)	
720 x 400	2.0	3.0	20.3	1.0	3	42	400	1	TEXT
640 x 480	3.8	1.9	25.4	0.6	2	33	480	10	VGA (60Hz)
640 x 480	1.3	4.1	20.3	0.8	3	28	480	9	VGA (72Hz)
640 x 480	2.0	3.8	20.3	0.5	3	16	480	1	VGA (75Hz)
640 x 480	1.6	2.2	17.8	1.6	3	25	480	1	VGA (85Hz)
800 x 600	2.0	3.6	22.2	0.7	2	22	600	1	SVGA (56Hz)
800 x 600	3.2	2.2	20.0	1.0	4	23	600	1	SVGA (60Hz)
800 x 600	2.4	1.3	16.0	1.1	6	23	600	37	SVGA (72Hz)
800 x 600	1.6	3.2	16.2	0.3	3	21	600	1	SVGA (75Hz)
800 x 600	1.1	2.7	14.2	0.6	3	27	600	1	SVGA (85Hz)
832 x 624	1.1	3.9	14.5	0.6	3	39	624	1	Mac 16” mode
1024 x 768	2.1	2.5	15.8	0.4	6	29	768	3	XGA (60Hz)
1024 x 768	1.8	1.9	13.7	0.3	6	29	768	3	XGA (70Hz)
1024 x 768	1.2	2.2	13.0	0.2	3	28	768	1	XGA (75Hz)
1024 x 768	1.0	2.2	10.8	0.5	3	36	768	1	XGA (85Hz)
1152 x 864	1.2	2.4	10.7	0.6	3	32	864	1	1152 x 864 (75Hz)
1280 x 768	1.7	2.5	16.0	0.8	3	23	768	1	W-XGA(60Hz)
1280 x 800	1.6	2.4	15.3	0.8	3	24	800	1	1280 x 800 (60Hz)
1280 x 960	1.0	2.9	11.9	0.9	3	36	960	1	1280 x 960 (60Hz)
1280 x 1024	1.0	2.3	11.9	0.4	3	38	1024	1	SXGA (60Hz)
1280 x 1024	1.1	1.8	9.5	0.1	3	38	1024	1	SXGA (75Hz)
1280 x 1024	1.0	1.4	8.1	0.4	3	44	1024	1	SXGA (85Hz)
1400 x 1050	1.2	2.0	11.4	0.7	3	33	1050	1	SXGA+ (60Hz)
1440 x 900	1.4	2.2	13.5	0.8	6	25	900	3	WXGA+(60Hz)
1680 x 1050	1.2	1.9	11.5	0.7	6	30	1050	3	WSXGA+ (60Hz)
1600 x 1200	1.2	1.9	9.9	0.4	3	46	1200	1	UXGA (60Hz)
1920 x 1200	0.208	0.519	12.47	0.312	6	26	1200	3	W-UXGA (RB) (60Hz)

入出力信号端子

お知らせ

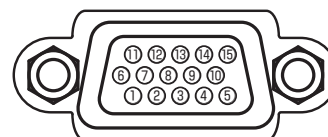
●本機の各接続端子は凹んでいるので、L 形ではなく、ストレート形プラグのケーブルを使用してください。

Ⓐ COMPUTER IN1，Ⓑ MONITOR OUT

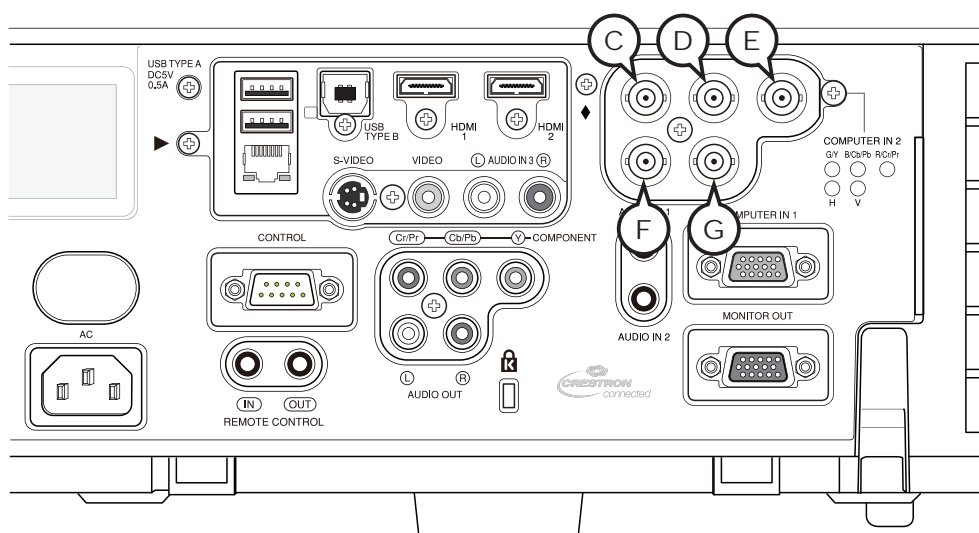
D-sub 15 ピン ミニシュリンクジャック

< コンピュータ信号 >

・映像信号：RGB セパレート、アナログ 0.7Vp-p、75 Ω終端（正極性）
・水平／垂直同期信号（セパレートシンク）：TTL レベル（正極性／負極性）
・複合同期信号（コンポジットシンク）；TTL レベル
・信号方式：「対応信号例」（📖4-2）をご参照ください。

< コンポーネントビデオ信号 >

・Y：1.0 ± 0.1Vp-p（同期信号含む）、75 Ω終端
・Cb/Pb：0.7 ± 0.1Vp-p、75 Ω終端
・Cr/Pr：0.7 ± 0.1Vp-p、75 Ω終端
・信号方式：480i@60, 480p@60, 576i@50, 576p@50, 720p@50/60, 1080i@50/60, 1080p@50/60

ピン No.	信号	ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	映像信号 赤 , Cr/Pr	6	接地 赤 , 接地 Cr/Pr	11	―
2	映像信号 緑 , Y	7	接地 緑 , 接地 Y	12	Ⓐ：SDA（DDC データ） Ⓑ：―
3	映像信号 青 , Cb/Pb	8	接地 青 , 接地 Cb/Pb	13	水平同期信号／複合同期信号
4	―	9	―	14	垂直同期信号
5	接地	10	接地	15	Ⓐ：SCL（DDC クロック） Ⓑ：―

（次ページにつづく）

COMPUTER IN2 Ⓒ G/Y, Ⓓ B/Cb/Pb, Ⓔ R/Cr/Pr, Ⓕ H, Ⓖ V

BNC ジャック× 5

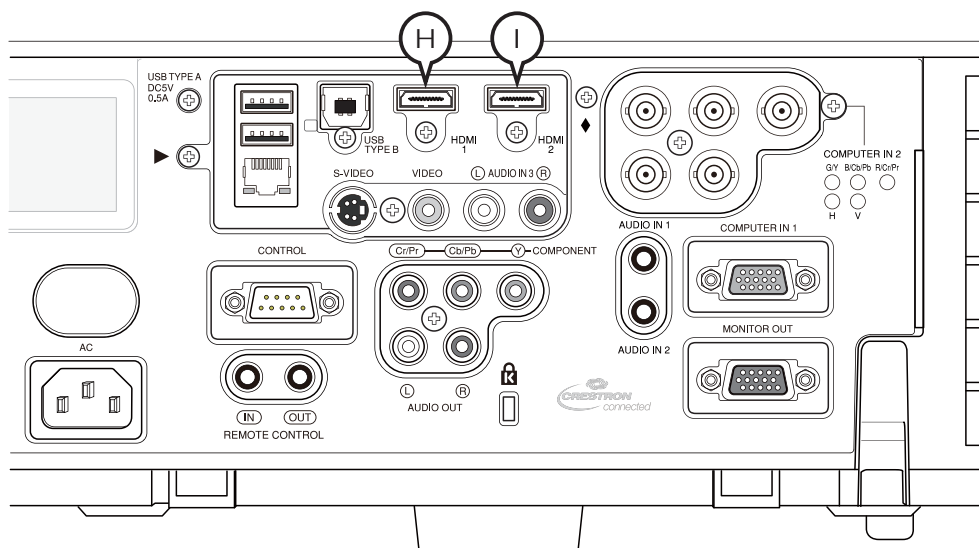
＜ コンピュータ信号 ＞

・映像信号：RGB セパレート、アナログ 0.7Vp-p、75 Ω終端（正極性）
・水平／垂直同期信号（セパレートシンク）：TTL レベル（正極性／負極性）
・複合同期信号（コンポジットシンク）；TTL レベル
・信号方式：「対応信号例」（📖**4-2**）をご参照ください。

＜ コンポーネントビデオ信号 ＞

・Y：1.0 ± 0.1Vp-p(同期信号含む)、75 Ω終端
・Cb/Pb：0.7 ± 0.1Vp-p、75 Ω終端
・Cr/Pr：0.7 ± 0.1Vp-p、75 Ω終端
・信号方式：480i@60, 480p@60, 576i@50, 576p@50, 720p@50/60, 1080i@50/60,
　　　　　1080p@50/60

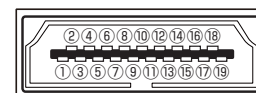
端子	信 号	端子	信 号
G/Y	映像信号 緑 , Y	H	水平同期信号／複合同期信号 . −
B/Cb/Pb	映像信号 青 , Cb/Pb	V	垂直同期信号 , −
R/Cr/Pr	映像信号 赤 , Cr/Pr		

（次ページにつづく）

Ⓗ HDMI 1，Ⓘ HDMI 2

HDMI® 映像／音声ジャック

・コンピュータ信号方式：「対応信号例」（📖**4-2**）をご参照ください。

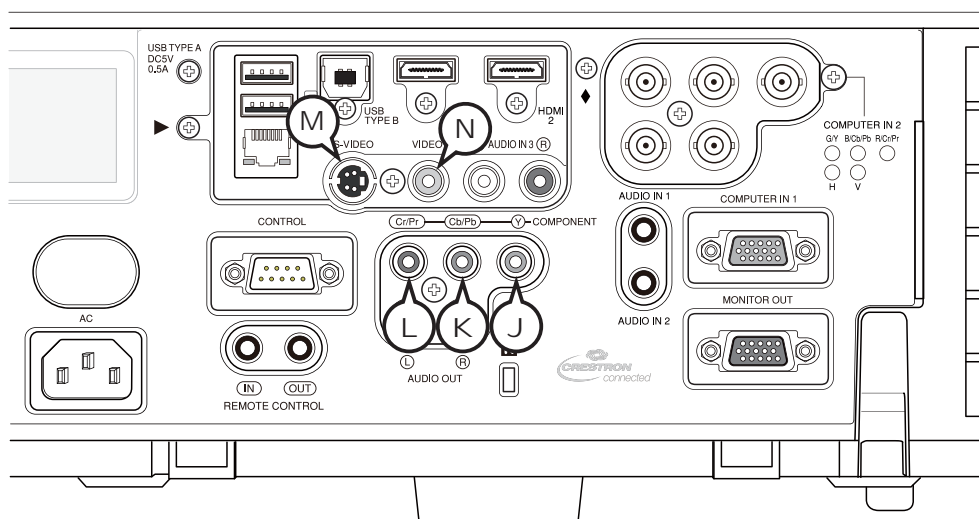
・コンポーネントビデオ信号方式：480i@60, 480p@60, 576i@50, 720p@50/60, 1080i@50/60, 1080p@50/60

・音声信号方式：リニア PCM（サンプリング周波数：32kHz，44.1kHz，48kHz）

ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	T.M.D.S. データ 2+	11	T.M.D.S. クロックシールド
2	T.M.D.S. データ 2 シールド	12	T.M.D.S. クロックー
3	T.M.D.S. データ 2 ー	13	CEC
4	T.M.D.S. データ 1+	14	予備（非結線）
5	T.M.D.S. データ 1 シールド	15	SCL（DDC クロック）
6	T.M.D.S. データ 1 ー	16	SDA（DDC データ）
7	T.M.D.S. データ 0+	17	DDC/CEC 接地
8	T.M.D.S. データ 0 シールド	18	＋ 5V
9	T.M.D.S. データ 0 ー	19	ホットプラグ検出
10	T.M.D.S. クロック＋		

お知らせ

●本機を DVI 出力機器に接続するには、DVI-HDMI® 変換ケーブルをご使用ください。

● HDMI® ケーブルは、HDMI® ロゴ付きのものをご使用ください。

（次ページにつづく）

COMPONENT Ⓙ Y，Ⓚ Cb/Pb，Ⓛ Cr/Pr

RCA ジャック× 3
- Y：1.0 ± 0.1Vp-p（同期信号含む）、75 Ω終端
- Cb/Pb：0.7 ± 0.1Vp-p、75 Ω終端
- Cr/Pr：0.7 ± 0.1Vp-p、75 Ω終端
- 信号方式：480i@60, 480p@60, 576i@50, 576p@50, 720p@50/60, 1080i@50/60, 1080p@50/60

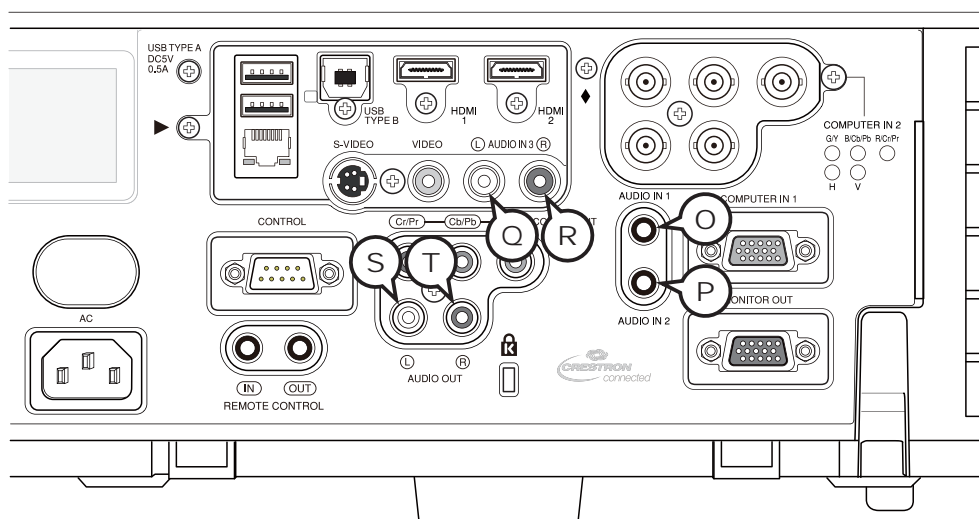
Ⓜ S-VIDEO

ミニ DIN4 ピンジャック
- Y（輝度信号）：1.0 ± 0.1Vp-p（同期信号含む）、75 Ω終端
- C（色信号）：0.286Vp-p(NTSC, burst)、75 Ω終端
  0.300Vp-p(PAL/SECAM, burst), 75 Ω終端
- 信号方式：NTSC, PAL, SECAM, PAL-M, PAL-N, NTSC4.43, PAL(60Hz)

ピン No.	信号
1	C（色信号）
2	Y（輝度信号）
3	接地
4	接地

Ⓝ VIDEO

RCA ジャック
- 入力信号：1.0 ± 0.1Vp-p、75 Ω終端
- 信号方式：NTSC, PAL, SECAM, PAL-M, PAL-N, NTSC4.43,PAL(60Hz)

（次ページにつづく）

Ⓞ AUDIO IN1，Ⓟ AUDIO IN2

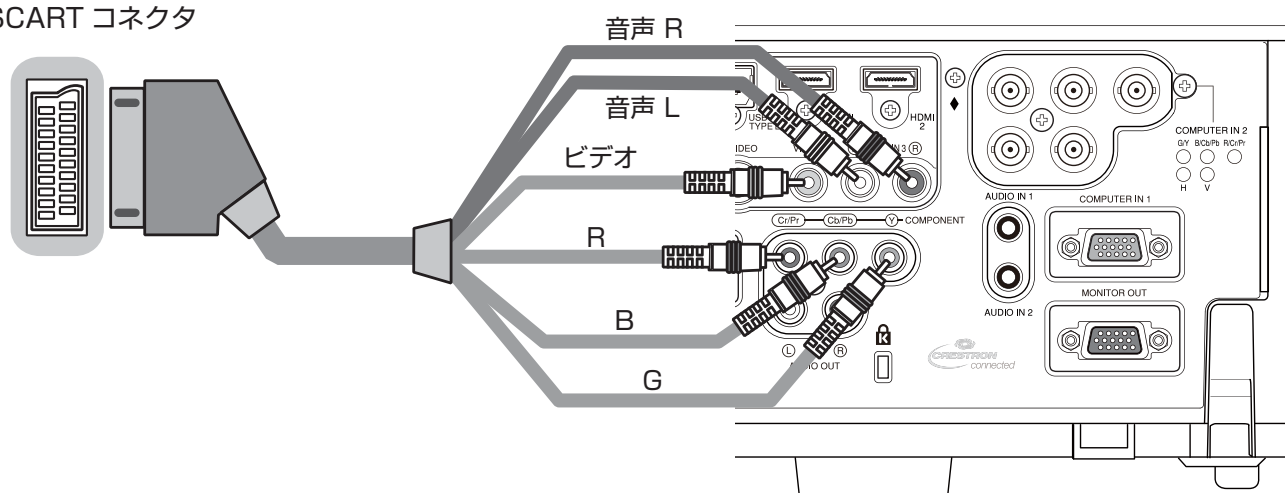
φ 3.5 ステレオミニジャック
・入力信号：47k Ω終端

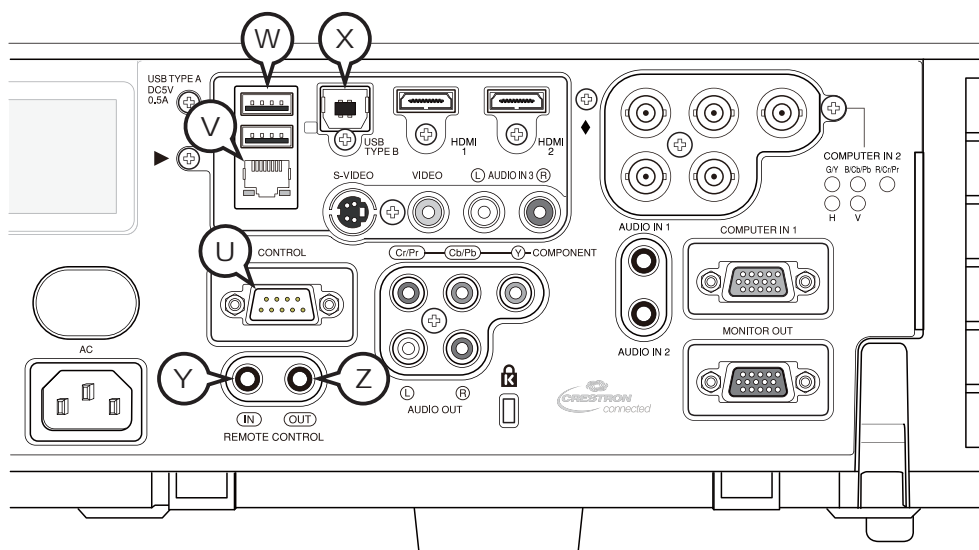
AUDIO IN3 Ⓠ L，Ⓡ R

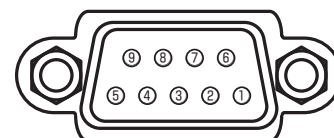
RCA ジャック× 2
・入力信号：47k Ω終端

AUDIO OUT Ⓢ L，Ⓣ R

RCA ジャック× 2
・出力信号：出力インピーダンス 1k Ω

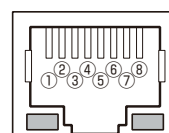
SCART RGB 信号の入力について

本機に SCART RGB 信号を入力するには、SCART-RCA 変換ケーブルをご使用になり、上図のように接続してください。ご不明な点は、お買い求めになった販売店、もしくはお客様ご相談窓口（📖 **巻末**）にご相談ください。

（次ページにつづく）

Ⓤ CONTROL

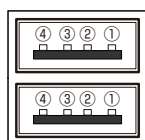
D-sub 9 ピンプラグ
RS-232C 通信については、「RS-232C 通信によるコマンド制御」（📖**4-10～12**）をご参照ください。

ピン No.	信号	ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	−	4	−	7	RTS
2	RD	5	接地	8	CTS
3	TD	6	−	9	−

Ⓥ LAN

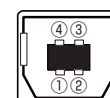
RJ-45 ジャック

ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	TX +	5	−
2	TX −	6	RX −
3	RX +	7	−
4	−	8	−

Ⓦ USB TYPE A

USB-A ジャック

ピン No.	信号
1	+5V
2	−データ
3	+データ
4	接地

Ⓧ USB TYPE B

USB-B ジャック

ピン No.	信号
1	+5V
2	−データ
3	+データ
4	接地

Ⓨ REMOTE CONTROL IN，Ⓩ REMOTE CONTROL OUT

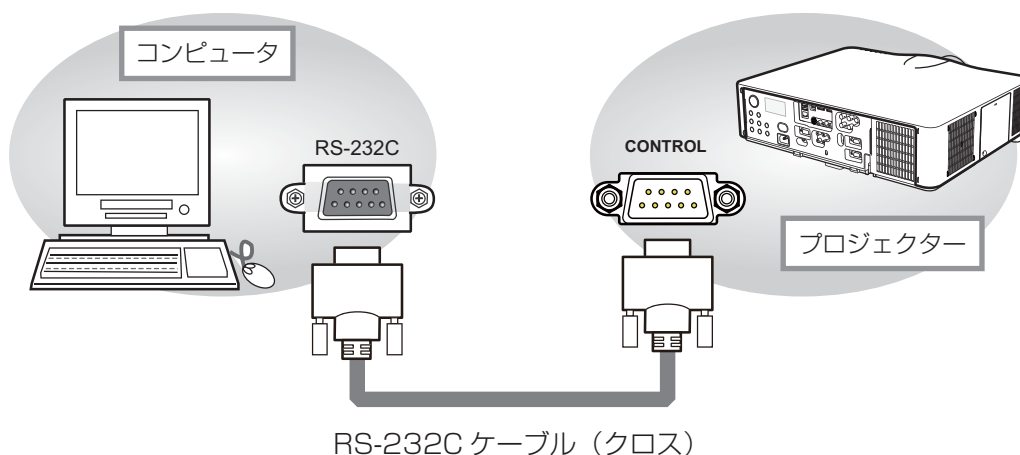
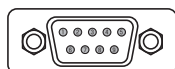
φ 3.5 ステレオミニジャック
リモコン、及び他のプロジェクターの REMOTE CONTROL (IN) 端子との接続端子です。

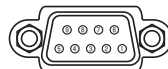
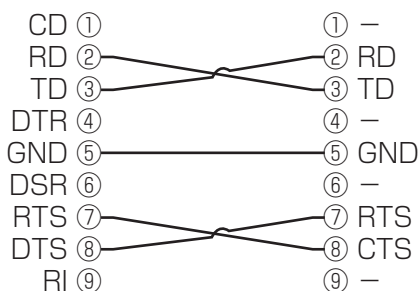
コマンド制御

本機は、RS-232C 通信またはネットワーク（有線／無線 LAN）で接続したコンピュータから RS-232C コマンドを使用して制御することができます。
ネットワークへの接続については、【ネットワーク編】をご参照ください。対応する RS-232C コマンドについては、「RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧」（📖4-14～34）をご参照ください。

RS-232C 通信によるコマンド制御

機器の接続と通信設定

1．本機とコンピュータの電源を切ってください。
2．コンピュータの RS-232C 端子と本機の CONTROL 端子を、RS-232C（クロス）ケーブルで接続します。ケーブルは下図の配線仕様のものをご使用ください。
3．コンピュータの電源を入れ、コンピュータが起動した後に、本機の電源を入れてください。

RS-232C ケーブル（クロス）

技術情報編

プロトコル

■**ボーレート：** 19200bps
■**シリアル設定：** 8N1

送信コマンド形式

("h" は 16 進数を示します。)

バイト番号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コマンド／機能	ヘッダ							データ					
	ヘッダコード		パケット	データサイズ		CRC フラグ		アクション		タイプ		セッティング	
	L	H		L	H	L	H	L	H	L	H	L	H
Set						(a_L)	(a_H)	01h	00h	(b_L)	(b_H)	(c_L)	(cH)
Get						(a_L)	(a_H)	02h	00h	(b_L)	(b_H)	00h	00h
Increment	BEh	EFh	03h	06h	00h	(a_L)	(a_H)	04h	00h	(b_L)	(b_H)	00h	00h
Decrement						(a_L)	(a_H)	05h	00h	(b_L)	(b_H)	00h	00h
Execute						(a_L)	(a_H)	06h	00h	(b_L)	(b_H)	00h	00h

■**ヘッダ**

[ヘッダコード]　：BE EFh（固定）
[パケット]　：03h（固定）
[データサイズ]　：06 00h（固定）
[CRC フラグ]　：「RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧」（📖**4-14～34**) をご参照ください。

■**データ**

[アクション]　：機能別コードを設定してください。

(1) **Set《設定》**：01 00h
[タイプ] で指定した項目 [$(b_L)(b_H)$] を、[セッティング] で指定した値 [$(c_L)(c_H)$] に従って、設定を変更します。

(2) **Get《取得》**：02 00h
[タイプ] で指定した項目 [$(b_L)(b_H)$] の設定値を読み出します。

(3) **Increment《増加》**：04 00h
[タイプ] で指定した項目 [$(b_L)(b_H)$] の設定値を 1 増やします。

(4) **Decrement《減少》**：05 00h
[タイプ] で指定した項目 [$(b_L)(b_H)$] の設定値を 1 減らします。

(5) **Execute《実行》**：06 00h
[タイプ] で指定した機能 [$(b_L)(b_H)$] を実行します。

[タイプ]　：「RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧」をご参照ください。
[セッティング]　：「RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧」をご参照ください。

応答コードおよびエラーコード　("h" は 16 進数を示します。)

(1) ACK 応答　：06h
Set、Increment、Decrement、Execute コマンドを本機が正常受信し、[タイプ] で指定された項目の設定を変更した場合、このコードを返します。

(2) NAK 応答　：15h
本機が無効なコマンドを受信した場合や、本機がコマンドを正しく受信できなかった場合など、本機が受信したコマンドを理解できなかった場合、このコードを返します。

(3) エラー応答　：1Ch + 00 00h　(00 00h：エラーコード)
本機がコマンドを正常受信し、何らかの理由で実行できなかった場合、エラーコードを付けて返します。
このコードを受信したら、送信したコマンドや、本機の設定状態をご確認ください。

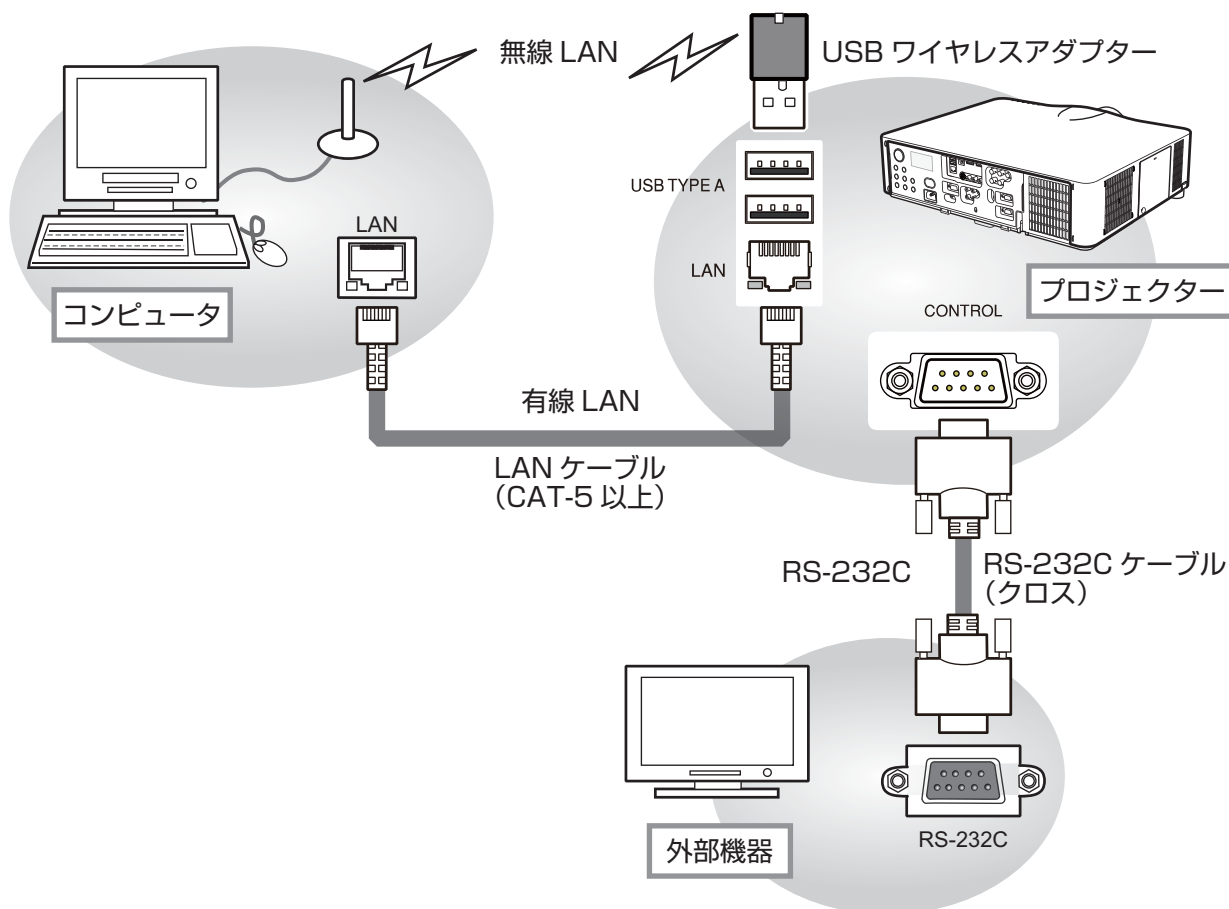
(4) データ応答　：1Dh + xx xxh　(xx xxh：データ)
Get コマンドを本機が正常受信した場合、2 バイトの回答コード（データ）を付けて返します。

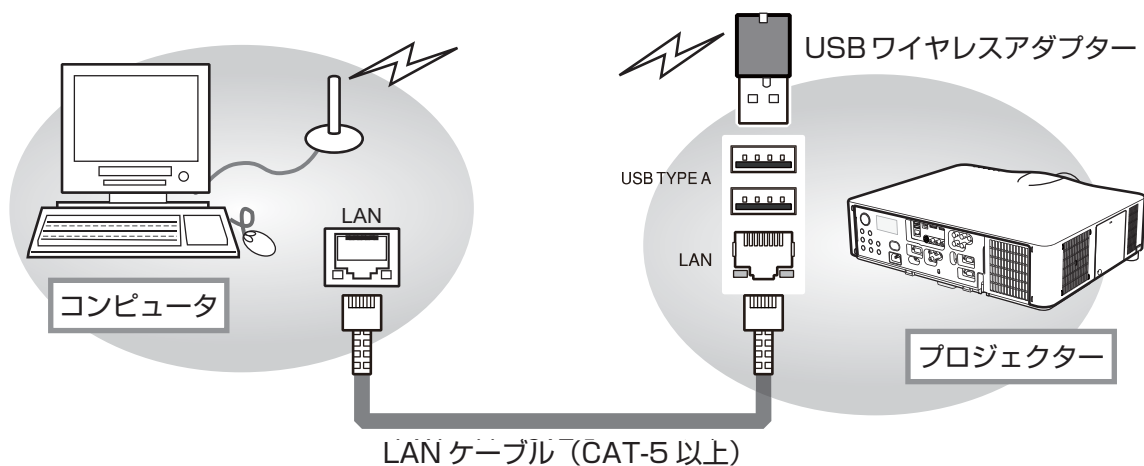
お知らせ

●機器の接続については、各機器の説明書をよくお読みの上、適切なケーブルで正しく接続してください。
●本機が未定義のコマンドあるいはデータを受け取った場合は、動作を保証できません。
●応答コードと他のコードの間隔は 40ms 以上あけてください。
●本機に電源を接続したときやランプ点灯後に、本機からテスト用のデータが出力されますが、故障ではありません。
●ウォームアップ中、本機はコマンドを受信できません。
●コマンドの長さが所定より長い場合は余分なコードを無視し、短い場合は、NAK 応答をコンピュータへ送信します。

ネットワークブリッジによるコマンド制御

本機はネットワークブリッジ機能に対応しています。本機と RS-232C 通信で接続した外部機器を、本機とネットワーク（有線／無線 LAN）で接続したコンピュータから、ネットワーク端末と同様に制御することができます。
詳しくは【ネットワーク編】「ネットワークブリッジ」（📖3-51～53）をご覧ください。

無線 LAN
USB ワイヤレスアダプター
USB TYPE A
LAN
LAN
プロジェクター
CONTROL
コンピュータ
有線 LAN
LAN ケーブル
（CAT-5 以上）
RS-232C
RS-232C ケーブル
（クロス）
外部機器
RS-232C

ネットワークからのコマンド制御

本機をネットワークに接続すると、ネットワークに接続されたコンピュータから RS-232C 通信／ネットワークコマンドを使用して本機を制御することができます。
詳しくは【ネットワーク編】「ネットワークからのコマンド制御」（📖3-54～56）をご覧ください。

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧

RS-232C 通信、またはネットワーク経由で、本機をコマンドで制御する場合の対応コマンドは下表の通りです。

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
パワー	Set	オフ（スタンバイ）	BE EF	03	06 00	2A D3	01 00	00 60	00 00
		オン (ランプオン)	BE EF	03	06 00	BA D2	01 00	00 60	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	19 D3	02 00	00 60	00 00
			回答コード (データ) 例 00 00 [スタンバイ]　01 00 [ランプオン]　02 00 [冷却動作中]						
入力切替	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	FE D2	01 00	00 20	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	3E D0	01 00	00 20	04 00
		LAN	BE EF	03	06 00	CE D5	01 00	00 20	0B 00
		USB TYPE A	BE EF	03	06 00	5E D1	01 00	00 20	06 00
		USB TYPE B	BE EF	03	06 00	FE D7	01 00	00 20	0C 00
		HDMI 1	BE EF	03	06 00	0E D2	01 00	00 20	03 00
		HDMI 2	BE EF	03	06 00	6E D6	01 00	00 20	0D 00
		COMPONENT	BE EF	03	06 00	AE D1	01 00	00 20	05 00
		S-VIDEO	BE EF	03	06 00	9E D3	01 00	00 20	02 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	6E D3	01 00	00 20	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	CD D2	02 00	00 20	00 00
エラーステータス	Get		BE EF	03	06 00	D9 D8	02 00	20 60	00 00
			回答コード (データ) 例 00 00 [正常]　01 00 [ランプカバーエラー]　02 00 [ファンエラー]　03 00 [ランプエラー] 04 00 [温度エラー]　05 00 [吸気エラー]　07 00 [低温エラー]　08 00 [フィルターエラー]						
フォーカス	Increment		BE EF	03	06 00	6A 93	04 00	00 24	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	BB 92	05 00	00 24	00 00
ズーム	Increment		BE EF	03	06 00	96 92	04 00	01 24	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	47 93	05 00	01 24	00 00
レンズシフト V	Increment		BE EF	03	06 00	D2 92	04 00	02 24	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	03 93	05 00	02 24	00 00
レンズシフト H	Increment		BE EF	03	06 00	2E 93	04 00	03 24	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	FF 92	05 00	03 24	00 00
レンズシフト センタリング	Execute		BE EF	03	06 00	B8 93	06 00	04 24	00 00
レンズメモリ番号	Set	1	BE EF	03	06 00	4B 92	01 00	07 24	00 00
		2	BE EF	03	06 00	DB 93	01 00	07 24	01 00
		3	BE EF	03	06 00	2B 93	01 00	07 24	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	78 92	02 00	07 24	00 00
レンズメモリ ロード	Execute		BE EF	03	06 00	E8 90	06 00	08 24	00 00
レンズメモリ セーブ	Execute		BE EF	03	06 00	14 91	06 00	09 24	00 00
レンズメモリ クリア	Execute		BE EF	03	06 00	50 91	06 00	0A 24	00 00
レンズメモリ レンズシフト V	Get		BE EF	03	06 00	A0 91	02 00	0D 24	00 00
レンズメモリ レンズシフト H	Get		BE EF	03	06 00	E4 91	02 00	0E 24	00 00
レンズメモリ レンズタイプ	Get		BE EF	03	06 00	18 90	02 00	0F 24	00 00

（次ページにつづく）

項目名	オペレーションタイプ	設定内容	ヘッダコード			CRC フラグ	コマンドデータ アクション	タイプ	セッティング コード
拡大	Get		BE EF	03	06 00	7C D2	02 00	07 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	1A D2	04 00	07 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	CB D3	05 00	07 30	00 00
拡大位置 水平	Get		BE EF	03	06 00	C8 D7	02 00	10 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	AE D7	04 00	10 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	7F D6	05 00	10 30	00 00
拡大位置 垂直	Get		BE EF	03	06 00	34 D6	02 00	11 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	52 D6	04 00	11 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	83 D7	05 00	11 30	00 00
静止	Set	通常表示	BE EF	03	06 00	83 D2	01 00	02 30	00 00
		静止	BE EF	03	06 00	13 D3	01 00	02 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	B0 D2	02 00	02 30	00 00
レンズシェード	Set	開く	BE EF	03	06 00	F3 93	01 00	05 24	00 00
		閉じる	BE EF	03	06 00	63 92	01 00	05 24	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	C0 93	02 00	05 24	00 00
PbyP/PinP	Set	オフ	BE EF	03	06 00	3E 26	01 00	10 23	00 00
		PbyP	BE EF	03	06 00	AE 27	01 00	10 23	01 00
		PinP	BE EF	03	06 00	5E27	01 00	10 23	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	0D 26	02 00	10 23	00 00
PbyP メインサイズ	Set	小	BE EF	03	06 00	F2 07	01 00	11 23	7F 00
		中	BE EF	03	06 00	02 46	01 00	11 23	80 00
		大	BE EF	03	06 00	92 47	01 00	11 23	81 00
	Get		BE EF	03	06 00	F1 27	02 00	11 23	00 00
PbyP 右画面入力	Set	COMPUTER IN 1	BE EF	03	06 00	86 27	01 00	12 23	00 00
		COMPUTER IN 2	BE EF	03	06 00	46 25	01 00	12 23	04 00
		HDMI 1	BE EF	03	06 00	76 27	01 00	12 23	03 00
		HDMI 2	BE EF	03	06 00	16 23	01 00	12 23	0D 00
		COMPONENT	BE EF	03	06 00	D6 24	01 00	12 23	05 00
		S-VIDEO	BE EF	03	06 00	E6 26	01 00	12 23	02 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	16 26	01 00	12 23	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	B5 27	02 00	12 23	00 00
PbyP メインエリア	Set	左画面	BE EF	03	06 00	7A 26	01 00	13 23	00 00
		右画面	BE EF	03	06 00	EA 27	01 00	13 23	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	49 26	02 00	13 23	00 00
PbyP 左画面入力	Set	COMPUTER IN 1	BE EF	03	06 00	F2 26	01 00	15 23	00 00
		COMPUTER IN 2	BE EF	03	06 00	32 24	01 00	15 23	04 00
		HDMI 1	BE EF	03	06 00	02 26	01 00	15 23	03 00
		HDMI 2	BE EF	03	06 00	62 22	01 00	15 23	0D 00
		COMPONENT	BE EF	03	06 00	A2 25	01 00	15 23	05 00
		S-VIDEO	BE EF	03	06 00	92 27	01 00	15 23	02 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	62 27	01 00	15 23	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	C1 26	02 00	15 23	00 00

（次ページにつづく）

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
PinP 位置	Set	左上	BE EF	03	06 00	02 23	01 00	01 23	00 00
		右上	BE EF	03	06 00	92 22	01 00	01 23	01 00
		左下	BE EF	03	06 00	62 22	01 00	01 23	02 00
		右下	BE EF	03	06 00	F2 23	01 00	01 23	03 00
	Get		BE EF	03	06 00	31 23	02 00	01 23	00 00
PinP メインエリア	Set	親画面	BE EF	03	06 00	32 22	01 00	05 23	00 00
		子画面	BE EF	03	06 00	A2 23	01 00	05 23	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	01 22	02 00	05 23	00 00
PinP 親画面入力	Set	COMPUTER IN 1	BE EF	03	06 00	CE 23	01 00	04 23	00 00
		COMPUTER IN 2	BE EF	03	06 00	0E 21	01 00	04 23	04 00
		HDMI 1	BE EF	03	06 00	3E 23	01 00	04 23	03 00
		HDMI 2	BE EF	03	06 00	5E 27	01 00	04 23	0D 00
		COMPONENT	BE EF	03	06 00	9E 20	01 00	04 23	05 00
		S-VIDEO	BE EF	03	06 00	AE 22	01 00	04 23	02 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	5E 22	01 00	04 23	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	FD 23	02 00	04 23	00 00
PinP 子画面入力	Set	COMPUTER IN 1	BE EF	03	06 00	46 23	01 00	02 23	00 00
		COMPUTER IN 2	BE EF	03	06 00	86 21	01 00	02 23	04 00
		HDMI 1	BE EF	03	06 00	B6 23	01 00	02 23	03 00
		HDMI 2	BE EF	03	06 00	D6 27	01 00	02 23	0D 00
		COMPONENT	BE EF	03	06 00	16 20	01 00	02 23	05 00
		S-VIDEO	BE EF	03	06 00	26 22	01 00	02 23	02 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	D6 22	01 00	02 23	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	75 23	02 00	02 23	00 00
PbyP/PinP 入れ替え	Execute		BE EF	03	06 00	01 27	06 00	16 23	00 00

（次ページにつづく）

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧（つづき）

項目名	オペレーションタイプ	設定内容	ヘッダコード			CRC フラグ	コマンドデータ アクション	タイプ	セッティングコード
映像モード	Set	ノーマル	BE EF	03	06 00	23 F6	01 00	BA 30	00 00
		シネマ	BE EF	03	06 00	B3 F7	01 00	BA 30	01 00
		ダイナミック	BE EF	03	06 00	E3 F4	01 00	BA 30	04 00
		黒板 (黒)	BE EF	03	06 00	E3 EF	01 00	BA 30	20 00
		黒板 (緑)	BE EF	03	06 00	73 EE	01 00	BA 30	21 00
		ホワイトボード	BE EF	03	06 00	83 EE	01 00	BA 30	22 00
		デイタイム	BE EF	03	06 00	E3 C7	01 00	BA 30	40 00
		DICOM SIM.	BE EF	03	06 00	73 C6	01 00	BA 30	41 00
	Get		BE EF	03	06 00	10 F6	02 00	BA 30	00 00
			回答コード（データ）例 00 00 01 00 04 00 10 00 [ノーマル] [シネマ] [ダイナミック] [カスタム] 20 00 21 00 22 00 40 00 41 00 [黒板（黒）][黒板（緑）][ホワイトボード][デイタイム][DICOM SIM.]						
明るさ	Get		BE EF	03	06 00	89 D2	02 00	03 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	EF D2	04 00	03 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	3E D3	05 00	03 20	00 00
明るさ リセット	Execute		BE EF	03	06 00	58 D3	06 00	00 70	00 00
コントラスト	Get		BE EF	03	06 00	FD D3	02 00	04 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	9B D3	04 00	04 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	4A D2	05 00	04 20	00 00
コントラスト リセット	Execute		BE EF	03	06 00	A4 D2	06 00	01 70	00 00
ガンマ	Set	デフォルト -1	BE EF	03	06 00	07 E9	01 00	A1 30	20 00
		カスタム -1	BE EF	03	06 00	07 FD	01 00	A1 30	10 00
		デフォルト -2	BE EF	03	06 00	97 E8	01 00	A1 30	21 00
		カスタム -2	BE EF	03	06 00	97 FC	01 00	A1 30	11 00
		デフォルト -3	BE EF	03	06 00	67 E8	01 00	A1 30	22 00
		カスタム -3	BE EF	03	06 00	67 FC	01 00	A1 30	12 00
		デフォルト -4	BE EF	03	06 00	F7 E9	01 00	A1 30	23 00
		カスタム -4	BE EF	03	06 00	F7 FD	01 00	A1 30	13 00
		デフォルト -5	BE EF	03	06 00	C7 EB	01 00	A1 30	24 00
		カスタム -5	BE EF	03	06 00	C7 FF	01 00	A1 30	14 00
		デフォルト -6	BE EF	03	06 00	57 EA	01 00	A1 30	25 00
		カスタム -6	BE EF	03	06 00	57 FE	01 00	A1 30	15 00
		デフォルト -7	BE EF	03	06 00	A7 EA	01 00	A1 30	26 00
		カスタム -7	BE EF	03	06 00	A7 FE	01 00	A1 30	16 00
	Get		BE EF	03	06 00	F4 F0	02 00	A1 30	00 00
カスタム ガンマ／色温度 テストパターン	Set	オフ	BE EF	03	06 00	FB FA	01 00	80 30	00 00
		9 ステップ グレイスケール	BE EF	03	06 00	6B FB	01 00	80 30	01 00
		15 ステップ グレイスケール	BE EF	03	06 00	9B FB	01 00	80 30	02 00
		ランプ波形	BE EF	03	06 00	0B FA	01 00	80 30	03 00
	Get		BE EF	03	06 00	C8 FA	02 00	80 30	00 00

（次ページにつづく）

項目名	オペレーションタイプ 設定内容	ヘッダコード			CRC フラグ	コマンドデータ アクション	タイプ	セッティング コード
カスタムガンマ ポイント -1	Get	BE EF	03	06 00	08 FE	02 00	90 30	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	6E FE	04 00	90 30	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	BF FF	05 00	90 30	00 00
カスタムガンマ ポイント -1 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	58 C2	06 00	50 70	00 00
カスタムガンマ ポイント -2	Get	BE EF	03	06 00	F4 FF	02 00	91 30	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	92 FF	04 00	91 30	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	43 FE	05 00	91 30	00 00
カスタムガンマ ポイント -2 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	A4 C3	06 00	51 70	00 00
カスタムガンマ ポイント -3	Get	BE EF	03	06 00	B0 FF	02 00	92 30	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	D6 FF	04 00	92 30	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	07 FE	05 00	92 30	00 00
カスタムガンマ ポイント -3 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	E0 C3	06 00	52 70	00 00
カスタムガンマ ポイント -4	Get	BE EF	03	06 00	4C FE	02 00	93 30	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	2A FE	04 00	93 30	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	FB FF	05 00	93 30	00 00
カスタムガンマ ポイント -4 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	1C C2	06 00	53 70	00 00
カスタムガンマ ポイント -5	Get	BE EF	03	06 00	38 FF	02 00	94 30	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	5E FF	04 00	94 30	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	8F FE	05 00	94 30	00 00
カスタムガンマ ポイント -5 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	68 C3	06 00	54 70	00 00
カスタムガンマ ポイント -6	Get	BE EF	03	06 00	C4 FE	02 00	95 30	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	A2 FE	04 00	95 30	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	73 FF	05 00	95 30	00 00
カスタムガンマ ポイント -6 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	94 C2	06 00	55 70	00 00
カスタムガンマ ポイント -7	Get	BE EF	03	06 00	80 FE	02 00	96 30	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	E6 FE	04 00	96 30	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	37 FF	05 00	96 30	00 00
カスタムガンマ ポイント -7 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	D0 C2	06 00	56 70	00 00
カスタムガンマ ポイント -8	Get	BE EF	03	06 00	7C FF	02 00	97 30	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	1A FF	04 00	97 30	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	CB FE	05 00	97 30	00 00
カスタムガンマ ポイント -8 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	2C C3	06 00	57 70	00 00

（次ページにつづく）

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧（つづき）

項目名	オペレーションタイプ	設定内容	ヘッダコード			CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティングコード
色温度	Set	高	BE EF	03	06 00	0B F5	01 00	B0 30	03 00
		カスタム -1	BE EF	03	06 00	CB F8	01 00	B0 30	13 00
		中	BE EF	03	06 00	9B F4	01 00	B0 30	02 00
		カスタム -2	BE EF	03	06 00	5B F9	01 00	B0 30	12 00
		低	BE EF	03	06 00	6B F4	01 00	B0 30	01 00
		カスタム -3	BE EF	03	06 00	AB F9	01 00	B0 30	11 00
		ハイブライト -1	BE EF	03	06 00	3B F2	01 00	B0 30	08 00
		カスタム -4	BE EF	03	06 00	FB FF	01 00	B0 30	18 00
		ハイブライト -2	BE EF	03	06 00	AB F3	01 00	B0 30	09 00
		カスタム -5	BE EF	03	06 00	6B FE	01 00	B0 30	19 00
		ハイブライト -3	BE EF	03	06 00	5B F3	01 00	B0 30	0A 00
		カスタム -6	BE EF	03	06 00	9B FE	01 00	B0 30	1A 00
	Get		BE EF	03	06 00	C8 F5	02 00	B0 30	00 00
色温度 ゲイン -R	Get		BE EF	03	06 00	34 F4	02 00	B1 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	52 F4	04 00	B1 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	83 F5	05 00	B1 30	00 00
色温度 ゲイン -R リセット	Execute		BE EF	03	06 00	10 C6	06 00	46 70	00 00
色温度 ゲイン -G	Get		BE EF	03	06 00	70 F4	02 00	B2 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	16 F4	04 00	B2 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	C7 F5	05 00	B2 30	00 00
色温度 ゲイン -G リセット	Execute		BE EF	03	06 00	EC C7	06 00	47 70	00 00
色温度 ゲイン -B	Get		BE EF	03	06 00	8C F5	02 00	B3 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	EA F5	04 00	B3 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	3B F4	05 00	B3 30	00 00
色温度 ゲイン -B リセット	Execute		BE EF	03	06 00	F8 C4	06 00	48 70	00 00
色温度 オフセット -R	Get		BE EF	03	06 00	04 F5	02 00	B5 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	62 F5	04 00	B5 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	B3 F4	05 00	B5 30	00 00
色温度 オフセット -R リセット	Execute		BE EF	03	06 00	40 C5	06 00	4A 70	00 00
色温度 オフセット -G	Get		BE EF	03	06 00	40 F5	02 00	B6 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	26 F5	04 00	B6 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	F7 F4	05 00	B6 30	00 00
色温度 オフセット -G リセット	Execute		BE EF	03	06 00	BC C4	06 00	4B 70	00 00
色温度 オフセット -B	Get		BE EF	03	06 00	BC F4	02 00	B7 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	DA F4	04 00	B7 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	0B F5	05 00	B7 30	00 00
色温度 オフセット -B リセット	Execute		BE EF	03	06 00	C8 C5	06 00	4C 70	00 00

（次ページにつづく）

項目名	オペレーションタイプ	設定内容	ヘッダコード			CRCフラグ	アクション	タイプ	セッティングコード
色の濃さ	Get		BE EF	03	06 00	B5 72	02 00	02 22	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	D3 72	04 00	02 22	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	02 73	05 00	02 22	00 00
色の濃さ リセット	Execute		BE EF	03	06 00	80 D0	06 00	0A 70	00 00
色あい	Get		BE EF	03	06 00	49 73	02 00	03 22	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	2F 73	04 00	03 22	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	FE 72	05 00	03 22	00 00
色あい リセット	Execute		BE EF	03	06 00	7C D1	06 00	0B 70	00 00
画質	Get		BE EF	03	06 00	F1 72	02 00	01 22	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	97 72	04 00	01 22	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	46 73	05 00	01 22	00 00
画質 リセット	Execute		BE EF	03	06 00	C4 D0	06 00	09 70	00 00
ACCENTUALIZER	Get		BE EF	03	06 00	5D 70	02 00	0C 22	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	3B 70	04 00	0C 22	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	EA 71	05 00	0C 22	00 00
ACCENTUALIZER リセット	Execute		BE EF	03	06 00	C8 D8	06 00	2C 70	00 00
アクティブアイリス	Set	オフ	BE EF	03	06 00	0B 22	01 00	04 33	00 00
		シアター	BE EF	03	06 00	CB 2F	01 00	04 33	10 00
		プレゼンテーション	BE EF	03	06 00	5B 2E	01 00	04 33	11 00
	Get		BE EF	03	06 00	38 22	02 00	04 33	00 00
マイメモリー ロード	Set	1	BE EF	03	06 00	0E D7	01 00	14 20	00 00
		2	BE EF	03	06 00	9E D6	01 00	14 20	01 00
		3	BE EF	03	06 00	6E D6	01 00	14 20	02 00
		4	BE EF	03	06 00	FE D7	01 00	14 20	03 00
マイメモリー セーブ	Set	1	BE EF	03	06 00	F2 D6	01 00	15 20	00 00
		2	BE EF	03	06 00	62 D7	01 00	15 20	01 00
		3	BE EF	03	06 00	92 D7	01 00	15 20	02 00
		4	BE EF	03	06 00	02 D6	01 00	15 20	03 00
アスペクト	Set	4:3	BE EF	03	06 00	9E D0	01 00	08 20	00 00
		16:9	BE EF	03	06 00	0E D1	01 00	08 20	01 00
		16:10	BE EF	03	06 00	3E D6	01 00	08 20	0A 00
		14:9	BE EF	03	06 00	CE D6	01 00	08 20	09 00
		*リアル	BE EF	03	06 00	5E D7	01 00	08 20	08 00
		ノーマル	BE EF	03	06 00	5E DD	01 00	08 20	10 00
	Get		BE EF	03	06 00	AD D0	02 00	08 20	00 00
オーバースキャン	Get		BE EF	03	06 00	91 70	02 00	09 22	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	F7 70	04 00	09 22	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	26 71	05 00	09 22	00 00
オーバースキャン リセット	Execute		BE EF	03	06 00	EC D9	06 00	27 70	00 00
垂直位置	Get		BE EF	03	06 00	0D 83	02 00	00 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	6B 83	04 00	00 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	BA 82	05 00	00 21	00 00
垂直位置 リセット	Execute		BE EF	03	06 00	E0 D2	06 00	02 70	00 00

*： <CP-WX8265J, CP-WU8460J のみ >

（次ページにつづく）

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
水平位置	Get		BE EF	03	06 00	F1 82	02 00	01 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	97 82	04 00	01 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	46 83	05 00	01 21	00 00
水平位置 リセット	Execute		BE EF	03	06 00	1C D3	06 00	03 70	00 00
クロック位相	Get		BE EF	03	06 00	49 83	02 00	03 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	2F 83	04 00	03 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	FE 82	05 00	03 21	00 00
水平サイズ	Get		BE EF	03	06 00	B5 82	02 00	02 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	D3 82	04 00	02 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	02 83	05 00	02 21	00 00
水平サイズ リセット	Execute		BE EF	03	06 00	68 D2	06 00	04 70	00 00
オートアジャスト 実行	Execute		BE EF	03	06 00	91 D0	06 00	0A 20	00 00
プログレッシブ	Set	オフ	BE EF	03	06 00	4A 72	01 00	07 22	00 00
		TV	BE EF	03	06 00	DA 73	01 00	07 22	01 00
		フィルム	BE EF	03	06 00	2A 73	01 00	07 22	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	79 72	02 00	07 22	00 00
VIDEO NR	Set	弱	BE EF	03	06 00	26 72	01 00	06 22	01 00
		中	BE EF	03	06 00	D6 72	01 00	06 22	02 00
		強	BE EF	03	06 00	46 73	01 00	06 22	03 00
	Get		BE EF	03	06 00	85 73	02 00	06 22	00 00
色空間	Set	オート	BE EF	03	06 00	0E 72	01 00	04 22	00 00
		RGB	BE EF	03	06 00	9E 73	01 00	04 22	01 00
		SMPTE240	BE EF	03	06 00	6E 73	01 00	04 22	02 00
		REC709	BE EF	03	06 00	FE 72	01 00	04 22	03 00
		REC601	BE EF	03	06 00	CE 70	01 00	04 22	04 00
	Get		BE EF	03	06 00	3D 72	02 00	04 22	00 00
COMPONENT	Set	COMPONENT	BE EF	03	06 00	4A D7	01 00	17 20	00 00
		SCART RGB	BE EF	03	06 00	DA D6	01 00	17 20	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	79 D7	02 00	17 20	00 00
ビデオフォーマット - S-VIDEO	Set	オート	BE EF	03	06 00	E6 70	01 00	12 22	0A 00
		NTSC	BE EF	03	06 00	86 74	01 00	12 22	04 00
		PAL	BE EF	03	06 00	16 75	01 00	12 22	05 00
		SECAM	BE EF	03	06 00	16 70	01 00	12 22	09 00
		NTSC4.43	BE EF	03	06 00	26 77	01 00	12 22	02 00
		M-PAL	BE EF	03	06 00	86 71	01 00	12 22	08 00
		N-PAL	BE EF	03	06 00	76 74	01 00	12 22	07 00
	Get		BE EF	03	06 00	75 76	02 00	12 22	00 00
ビデオフォーマット - C-VIDEO	Set	オート	BE EF	03	06 00	A2 70	01 00	11 22	0A 00
		NTSC	BE EF	03	06 00	C2 74	01 00	11 22	04 00
		PAL	BE EF	03	06 00	52 75	01 00	11 22	05 00
		SECAM	BE EF	03	06 00	52 70	01 00	11 22	09 00
		NTSC4.43	BE EF	03	06 00	62 77	01 00	11 22	02 00
		M-PAL	BE EF	03	06 00	C2 71	01 00	11 22	08 00
		N-PAL	BE EF	03	06 00	32 74	01 00	11 22	07 00
	Get		BE EF	03	06 00	31 76	02 00	11 22	00 00

（次ページにつづく）

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
HDMI 1 フォーマット	Set	オート	BE EF	03	06 00	BA 77	01 00	13 22	00 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	2A 76	01 00	13 22	01 00
		COMPUTER	BE EF	03	06 00	DA 76	01 00	13 22	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	89 77	02 00	13 22	00 00
HDMI 2 フォーマット	Set	オート	BE EF	03	06 00	52 75	01 00	1D 22	00 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	C2 74	01 00	1D 22	01 00
		COMPUTER	BE EF	03	06 00	32 74	01 00	1D 22	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	61 75	02 00	1D 22	00 00
HDMI 1 レンジ	Set	オート	BE EF	03	06 00	86 D8	01 00	22 20	00 00
		ノーマル	BE EF	03	06 00	16 D9	01 00	22 20	01 00
		拡張	BE EF	03	06 00	E6 D9	01 00	22 20	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	B5 D8	02 00	22 20	00 00
HDMI 2 レンジ	Set	オート	BE EF	03	06 00	7A D9	01 00	23 20	00 00
		ノーマル	BE EF	03	06 00	EA D8	01 00	23 20	01 00
		拡張	BE EF	03	06 00	1A D8	01 00	23 20	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	49 D9	02 00	23 20	00 00
COMPUTER イン - COMPUTER IN1	Set	オート	BE EF	03	06 00	CE D6	01 00	10 20	03 00
		SYNC ON G オフ	BE EF	03	06 00	5E D7	01 00	10 20	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	0D D6	02 00	10 20	00 00
COMPUTER イン - COMPUTER IN2	Set	オート	BE EF	03	06 00	32 D7	01 00	11 20	03 00
		SYNC ON G オフ	BE EF	03	06 00	A2 D6	01 00	11 20	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	F1 D7	02 00	11 20	00 00
フレームロック - COMPUTER IN1	Set	無効	BE EF	03	06 00	3B C2	01 00	50 30	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	AB C3	01 00	50 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	08 C2	02 00	50 30	00 00
フレームロック - COMPUTER IN2	Set	無効	BE EF	03	06 00	0B C3	01 00	54 30	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	9B C2	01 00	54 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	38 C3	02 00	54 30	00 00
フレームロック - HDMI 1	Set	無効	BE EF	03	06 00	7F C2	01 00	53 30	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	EF C3	01 00	53 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	4C C2	02 00	53 30	00 00
フレームロック - HDMI 2	Set	無効	BE EF	03	06 00	97 C0	01 00	5D 30	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	07 C1	01 00	5D 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	A4 C0	02 00	5D 30	00 00

（次ページにつづく）

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧（つづき）

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティングコード
オートキーストン(垂直)実行	Execute		BE EF	03	06 00	E5 D1	06 00	0D 20	00 00
垂直キーストン	Get		BE EF	03	06 00	B9 D3	02 00	07 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	DF D3	04 00	07 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	0E D2	05 00	07 20	00 00
垂直キーストンリセット	Execute		BE EF	03	06 00	08 D0	06 00	0C 70	00 00
水平キーストン	Get		BE EF	03	06 00	E9 D0	02 00	0B 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	8F D0	04 00	0B 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	5E D1	05 00	0B 20	00 00
水平キーストンリセット	Execute		BE EF	03	06 00	98 D8	06 00	20 70	00 00
コーナーフィット	Set	無効	BE EF	03	06 00	FE 88	01 00	20 21	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	6E 89	01 00	20 21	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	CD 88	02 00	20 21	00 00
コーナーフィット左上隅水平位置	Get		BE EF	03	06 00	31 89	02 00	21 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	57 89	04 00	21 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	86 88	05 00	21 21	00 00
コーナーフィット左上隅垂直位置	Get		BE EF	03	06 00	75 89	02 00	22 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	13 89	04 00	22 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	C2 88	05 00	22 21	00 00
コーナーフィット右上隅水平位置	Get		BE EF	03	06 00	89 88	02 00	23 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	EF 88	04 00	23 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	3E 89	05 00	23 21	00 00
コーナーフィット右上隅垂直位置	Get		BE EF	03	06 00	FD 89	02 00	24 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	9B 89	04 00	24 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	4A 88	05 00	24 21	00 00
コーナーフィット左下隅水平位置	Get		BE EF	03	06 00	01 88	02 00	25 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	67 88	04 00	25 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	B6 89	05 00	25 21	00 00
コーナーフィット左下隅垂直位置	Get		BE EF	03	06 00	45 88	02 00	26 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	23 88	04 00	26 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	F2 89	05 00	26 21	00 00
コーナーフィット右下隅水平位置	Get		BE EF	03	06 00	B9 89	02 00	27 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	DF 89	04 00	27 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	0E 88	05 00	27 21	00 00
コーナーフィット右下隅垂直位置	Get		BE EF	03	06 00	AD 8A	02 00	28 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	CB 8A	04 00	28 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	1A 8B	05 00	28 21	00 00
コーナーフィット四隅位置リセット	Execute		BE EF	03	06 00	D5 8A	06 00	29 21	00 00

（次ページにつづく）

技術情報編

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRCフラグ	アクション	タイプ	セッティングコード
＊コーナーフィット左辺たわみ量	Get		BE EF	03	06 00	31 97	02 00	41 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	57 97	04 00	41 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	86 96	05 00	41 21	00 00
＊コーナーフィット右辺たわみ量	Get		BE EF	03	06 00	75 97	02 00	42 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	13 97	04 00	42 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	C2 96	05 00	42 21	00 00
＊コーナーフィット左右辺たわみ中心位置	Get		BE EF	03	06 00	89 96	02 00	43 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	EF 96	04 00	43 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	3E 97	05 00	43 21	00 00
＊コーナーフィット上辺たわみ量	Get		BE EF	03	06 00	FD 97	02 00	44 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	9B 97	04 00	44 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	4A 96	05 00	44 21	00 00
＊コーナーフィット下辺たわみ量	Get		BE EF	03	06 00	01 96	02 00	45 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	67 96	04 00	45 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	B6 97	05 00	45 21	00 00
＊コーナーフィット上下辺たわみ中心位置	Get		BE EF	03	06 00	45 96	02 00	46 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	23 96	04 00	46 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	F2 97	05 00	46 21	00 00
＊コーナーフィット四辺たわみリセット	Execute		BE EF	03	06 00	3D 96	06 00	47 21	00 00
コーナーフィットメモリ セーブ 1	Execute		BE EF	03	06 00	29 95	06 00	48 21	00 00
コーナーフィットメモリ セーブ 2	Execute		BE EF	03	06 00	D5 94	06 00	49 21	00 00
コーナーフィットメモリ セーブ 3	Execute		BE EF	03	06 00	91 94	06 00	4A 21	00 00
コーナーフィットメモリ ロード 1	Execute		BE EF	03	06 00	6D 95	06 00	4B 21	00 00
コーナーフィットメモリ ロード 2	Execute		BE EF	03	06 00	19 94	06 00	4C 21	00 00
コーナーフィットメモリ ロード 3	Execute		BE EF	03	06 00	E5 95	06 00	4D 21	00 00
オートエコモード	Set	オフ	BE EF	03	06 00	FB 27	01 00	10 33	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	6B 26	01 00	10 33	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	C8 27	02 00	10 33	00 00
エコモード	Set	ノーマル	BE EF	03	06 00	3B 23	01 00	00 33	00 00
		エコ	BE EF	03	06 00	AB 22	01 00	00 33	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	08 23	02 00	00 33	00 00
設置方法	Set	前面投射／机上	BE EF	03	06 00	C7 D2	01 00	01 30	00 00
		背面投射／机上	BE EF	03	06 00	57 D3	01 00	01 30	01 00
		前面投射／天吊り	BE EF	03	06 00	A7 D3	01 00	01 30	02 00
		背面投射／天吊り	BE EF	03	06 00	37 D2	01 00	01 30	03 00
	Get		BE EF	03	06 00	F4 D2	02 00	01 30	00 00
スタンバイモード	Set	通常	BE EF	03	06 00	D6 D2	01 00	01 60	00 00
		省電力	BE EF	03	06 00	46 D3	01 00	01 60	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	E5 D2	02 00	01 60	00 00

＊： <CP-X8170J、CP-WX8265J のみ >

（次ページにつづく）

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティングコード
モニターアウト COMPUTER IN1	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	3E F4	01 00	B0 20	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	FE F6	01 00	B0 20	04 00
		オフ	BE EF	03	06 00	CE B5	01 00	B0 20	FF 00
	Get		BE EF	03	06 00	0D F4	02 00	B0 20	00 00
モニターアウト COMPUTER IN2	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	0E F5	01 00	B4 20	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	CE F7	01 00	B4 20	04 00
		オフ	BE EF	03	06 00	FE B4	01 00	B4 20	FF 00
	Get		BE EF	03	06 00	3D F5	02 00	B4 20	00 00
モニターアウト LAN	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	1A F6	01 00	BB 20	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	DA F4	01 00	BB 20	04 00
		オフ	BE EF	03	06 00	EA B7	01 00	BB 20	FF 00
	Get		BE EF	03	06 00	29 F6	02 00	BB 20	00 00
モニターアウト USB TYPE A	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	B6 F4	01 00	B6 20	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	76 F6	01 00	B6 20	04 00
		オフ	BE EF	03	06 00	46 B5	01 00	B6 20	FF 00
	Get		BE EF	03	06 00	85 F4	02 00	B6 20	00 00
モニターアウト USB TYPE B	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	6E F7	01 00	BC 20	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	AE F5	01 00	BC 20	04 00
		オフ	BE EF	03	06 00	9E B6	01 00	BC 20	FF 00
	Get		BE EF	03	06 00	5D F7	02 00	BC 20	00 00
モニターアウト HDMI 1	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	7A F4	01 00	B3 20	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	BA F6	01 00	B3 20	04 00
		オフ	BE EF	03	06 00	8A B5	01 00	B3 20	FF 00
	Get		BE EF	03	06 00	49 F4	02 00	B3 20	00 00
モニターアウト HDMI 2	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	92 F6	01 00	BD 20	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	52 F4	01 00	BD 20	04 00
		オフ	BE EF	03	06 00	62 B7	01 00	BD 20	FF 00
	Get		BE EF	03	06 00	A1 F6	02 00	BD 20	00 00
モニターアウト COMPONENT	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	F2 F4	01 00	B5 20	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	32 F6	01 00	B5 20	04 00
		オフ	BE EF	03	06 00	02 B5	01 00	B5 20	FF 00
	Get		BE EF	03	06 00	C1 F4	02 00	B5 20	00 00
モニターアウト S-VIDEO	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	86 F5	01 00	B2 20	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	46 F7	01 00	B2 20	04 00
		オフ	BE EF	03	06 00	76 B4	01 00	B2 20	FF 00
	Get		BE EF	03	06 00	B5 F5	02 00	B2 20	00 00
モニターアウト VIDEO	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	C2 F5	01 00	B1 20	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	02 F7	01 00	B1 20	04 00
		オフ	BE EF	03	06 00	32 B4	01 00	B1 20	FF 00
	Get		BE EF	03	06 00	F1 F5	02 00	B1 20	00 00
モニターアウト スタンバイ	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	2A F7	01 00	BF 20	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	EA F5	01 00	BF 20	04 00
		オフ	BE EF	03	06 00	DA B6	01 00	BF 20	FF 00
	Get		BE EF	03	06 00	19 F7	02 00	BF 20	00 00

（次ページにつづく）

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
音量 - COMPUTER IN1	Get		BE EF	03	06 00	CD CC	02 00	60 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	AB CC	04 00	60 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	7A CD	05 00	60 20	00 00
音量 - COMPUTER IN2	Get		BE EF	03	06 00	FD CD	02 00	64 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	9B CD	04 00	64 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	4A CC	05 00	64 20	00 00
音量 - LAN	Get		BE EF	03	06 00	E9 CE	02 00	6B 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	8F CE	04 00	6B 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	5E CF	05 00	6B 20	00 00
音量 - USB TYPE A	Get		BE EF	03	06 00	45 CC	02 00	66 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	23 CC	04 00	66 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	F2 CD	05 00	66 20	00 00
音量 - USB TYPE B	Get		BE EF	03	06 00	9D CF	02 00	6C 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	FB CF	04 00	6C 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	2A CE	05 00	6C 20	00 00
音量 - HDMI 1	Get		BE EF	03	06 00	89 CC	02 00	63 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	EF CC	04 00	63 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	3E CD	05 00	63 20	00 00
音量 - HDMI 2	Get		BE EF	03	06 00	61 CE	02 00	6D 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	07 CE	04 00	6D 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	D6 CF	05 00	6D 20	00 00
音量 -COMPONENT	Get		BE EF	03	06 00	01 CC	02 00	65 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	67 CC	04 00	65 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	B6 CD	05 00	65 20	00 00
音量 -S-VIDEO	Get		BE EF	03	06 00	75 CD	02 00	62 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	13 CD	04 00	62 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	C2 CC	05 00	62 20	00 00
音量 -VIDEO	Get		BE EF	03	06 00	31 CD	02 00	61 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	57 CD	04 00	61 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	86 CC	05 00	61 20	00 00
音量 - AUDIO OUT スタンバイ	Get		BE EF	03	06 00	D9 CF	02 00	6F 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	BF CF	04 00	6F 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	6E CE	05 00	6F 20	00 00
全音量	Get		BE EF	03	06 00	CD C3	02 00	50 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	AB C3	04 00	50 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	7A C2	05 00	50 20	00 00
消音	Set	通常	BE EF	03	06 00	46 D3	01 00	02 20	00 00
		消音	BE EF	03	06 00	D6 D2	01 00	02 20	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	75 D3	02 00	02 20	00 00

（次ページにつづく）

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧（つづき）

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティングコード
音声入力設定 - COMPUTER IN1	Set	AUDIO IN1	BE EF	03	06 00	6E DC	01 00	30 20	01 00
		AUDIO IN2	BE EF	03	06 00	9E DC	01 00	30 20	02 00
		AUDIO IN3	BE EF	03	06 00	0E DD	01 00	30 20	03 00
		オフ	BE EF	03	06 00	FE DD	01 00	30 20	00 00
	Get		BE EF	03	06 00	CD DD	02 00	30 20	00 00
音声入力設定 - COMPUTER IN2	Set	AUDIO IN1	BE EF	03	06 00	5E DD	01 00	34 20	01 00
		AUDIO IN2	BE EF	03	06 00	AE DD	01 00	34 20	02 00
		AUDIO IN3	BE EF	03	06 00	3E DC	01 00	34 20	03 00
		オフ	BE EF	03	06 00	CE DC	01 00	34 20	00 00
	Get		BE EF	03	06 00	FD DC	02 00	34 20	00 00
音声入力設定 -LAN	Set	AUDIO IN1	BE EF	03	06 00	4A DE	01 00	3B 20	01 00
		AUDIO IN2	BE EF	03	06 00	BA DE	01 00	3B 20	02 00
		AUDIO IN3	BE EF	03	06 00	2A DF	01 00	3B 20	03 00
		LAN 音声	BE EF	03	06 00	8A D3	01 00	3B 20	11 00
		オフ	BE EF	03	06 00	DA DF	01 00	3B 20	00 00
	Get		BE EF	03	06 00	E9 DF	02 00	3B 20	00 00
音声入力設定 - USB TYPE A	Set	AUDIO IN1	BE EF	03	06 00	E6 DC	01 00	36 20	01 00
		AUDIO IN2	BE EF	03	06 00	16 DC	01 00	36 20	02 00
		AUDIO IN3	BE EF	03	06 00	86 DD	01 00	36 20	03 00
		USB TYPE A 音声	BE EF	03	06 00	B6 D0	01 00	36 20	10 00
		オフ	BE EF	03	06 00	76 DD	01 00	36 20	00 00
	Get		BE EF	03	06 00	45 DD	02 00	36 20	00 00
音声入力設定 - USB TYPE B	Set	AUDIO IN1	BE EF	03	06 00	3E DF	01 00	3C 20	01 00
		AUDIO IN2	BE EF	03	06 00	CE DF	01 00	3C 20	02 00
		AUDIO IN3	BE EF	03	06 00	5E DE	01 00	3C 20	03 00
		USB TYPE B 音声	BE EF	03	06 00	0E D2	01 00	3C 20	12 00
		オフ	BE EF	03	06 00	AE DE	01 00	3C 20	00 00
	Get		BE EF	03	06 00	9D DE	02 00	3C 20	00 00
音声入力設定 - HDMI 1	Set	AUDIO IN1	BE EF	03	06 00	2A DC	01 00	33 20	01 00
		AUDIO IN2	BE EF	03	06 00	DA DC	01 00	33 20	02 00
		AUDIO IN3	BE EF	03	06 00	4A DD	01 00	33 20	03 00
		HDMI 1 音声	BE EF	03	06 00	7A C4	01 00	33 20	20 00
		オフ	BE EF	03	06 00	BA DD	01 00	33 20	00 00
	Get		BE EF	03	06 00	89 DD	02 00	33 20	00 00
音声入力設定 - HDMI 2	Set	AUDIO IN1	BE EF	03	06 00	C2 DE	01 00	3D 20	01 00
		AUDIO IN2	BE EF	03	06 00	32 DE	01 00	3D 20	02 00
		AUDIO IN3	BE EF	03	06 00	A2 DF	01 00	3D 20	03 00
		HDMI 2 音声	BE EF	03	06 00	02 C7	01 00	3D 20	21 00
		オフ	BE EF	03	06 00	52 DF	01 00	3D 20	00 00
	Get		BE EF	03	06 00	61 DF	02 00	3D 20	00 00
音声入力設定 - COMPONENT	Set	AUDIO IN1	BE EF	03	06 00	A2 DC	01 00	35 20	01 00
		AUDIO IN2	BE EF	03	06 00	52 DC	01 00	35 20	02 00
		AUDIO IN3	BE EF	03	06 00	C2 DD	01 00	35 20	03 00
		オフ	BE EF	03	06 00	32 DD	01 00	35 20	00 00
	Get		BE EF	03	06 00	01 DD	02 00	35 20	00 00

（次ページにつづく）

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティングコード
音声入力設定 - S-VIDEO	Set	AUDIO IN1	BE EF	03	06 00	D6 DD	01 00	32 20	01 00
		AUDIO IN2	BE EF	03	06 00	26 DD	01 00	32 20	02 00
		AUDIO IN3	BE EF	03	06 00	B6 DC	01 00	32 20	03 00
		オフ	BE EF	03	06 00	46 DC	01 00	32 20	00 00
	Get		BE EF	03	06 00	75 DC	02 00	32 20	00 00
音声入力設定 - VIDEO	Set	AUDIO IN1	BE EF	03	06 00	92 DD	01 00	31 20	01 00
		AUDIO IN2	BE EF	03	06 00	62 DD	01 00	31 20	02 00
		AUDIO IN3	BE EF	03	06 00	F2 DC	01 00	31 20	03 00
		オフ	BE EF	03	06 00	02 DC	01 00	31 20	00 00
	Get		BE EF	03	06 00	31 DC	02 00	31 20	00 00
音声入力設定 - AUDIO OUT スタンバイ	Set	AUDIO IN1	BE EF	03	06 00	7A DF	01 00	3F 20	01 00
		AUDIO IN2	BE EF	03	06 00	8A DF	01 00	3F 20	02 00
		AUDIO IN3	BE EF	03	06 00	1A DE	01 00	3F 20	03 00
		オフ	BE EF	03	06 00	EA DE	01 00	3F 20	00 00
	Get		BE EF	03	06 00	D9 DE	02 00	3F 20	00 00
LAN 音声	Set	オフ	BE EF	03	06 00	BA F0	01 00	A3 20	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	2A F1	01 00	A3 20	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	89 F0	02 00	A3 20	00 00
USB TYPE A 音声	Set	オフ	BE EF	03	06 00	CE F1	01 00	A4 20	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	5E F0	01 00	A4 20	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	FD F1	02 00	A4 20	00 00
USB TYPE B 音声	Set	オフ	BE EF	03	06 00	32 F0	01 00	A5 20	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	A2 F1	01 00	A5 20	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	01 F0	02 00	A5 20	00 00
表示言語	Set	ENGLISH	BE EF	03	06 00	F7 D3	01 00	05 30	00 00
		FRANÇAIS	BE EF	03	06 00	67 D2	01 00	05 30	01 00
		DEUTSCH	BE EF	03	06 00	97 D2	01 00	05 30	02 00
		ESPAÑOL	BE EF	03	06 00	07 D3	01 00	05 30	03 00
		ITALIANO	BE EF	03	06 00	37 D1	01 00	05 30	04 00
		NORSK	BE EF	03	06 00	A7 D0	01 00	05 30	05 00
		NEDERLANDS	BE EF	03	06 00	57 D0	01 00	05 30	06 00
		PORTUGUÊS	BE EF	03	06 00	C7 D1	01 00	05 30	07 00
		日本語	BE EF	03	06 00	37 D4	01 00	05 30	08 00
		简体中文	BE EF	03	06 00	A7 D5	01 00	05 30	09 00
		繁體中文	BE EF	03	06 00	37 DE	01 00	05 30	10 00
		한글	BE EF	03	06 00	57 D5	01 00	05 30	0A 00
		SVENSKA	BE EF	03	06 00	C7 D4	01 00	05 30	0B 00
		РУССКИЙ	BE EF	03	06 00	F7 D6	01 00	05 30	0C 00
		SUOMI	BE EF	03	06 00	67 D7	01 00	05 30	0D 00
		POLSKI	BE EF	03	06 00	97 D7	01 00	05 30	0E 00
	Get		BE EF	03	06 00	C4 D3	02 00	05 30	00 00

（次ページにつづく）

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧（つづき）

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRCフラグ	アクション	タイプ	セッティングコード
表示言語（つづき）	Set	TÜRKÇE	BE EF	03	06 00	07 D6	01 00	05 30	0F 00
		DANSK	BE EF	03	06 00	A7 DF	01 00	05 30	11 00
		ČESKY	BE EF	03	06 00	57 DF	01 00	05 30	12 00
		MAGYAR	BE EF	03	06 00	C7 DE	01 00	05 30	13 00
		ROMÂNĂ	BE EF	03	06 00	F7 DC	01 00	05 30	14 00
		SLOVENSKI	BE EF	03	06 00	67 DD	01 00	05 30	15 00
		HRVATSKI	BE EF	03	06 00	97 DD	01 00	05 30	16 00
		ΕΛΛΗΝΙΚΑ	BE EF	03	06 00	07 DC	01 00	05 30	17 00
		LIETUVIŲ	BE EF	03	06 00	F7 D9	01 00	05 30	18 00
		EESTI	BE EF	03	06 00	67 D8	01 00	05 30	19 00
		LATVIEŠU	BE EF	03	06 00	97 D8	01 00	05 30	1A 00
		ไทย	BE EF	03	06 00	07 D9	01 00	05 30	1B 00
		اللغة العربية	BE EF	03	06 00	37 DB	01 00	05 30	1C 00
		فارسی	BE EF	03	06 00	A7 DA	01 00	05 30	1D 00
		BAHASA IND	BE EF	03	06 00	C7 DB	01 00	05 30	1F 00
		TIENG VIET	BE EF	03	06 00	37 CA	01 00	05 30	20 00
		PORTUGUÊS BRA	BE EF	03	06 00	57 DA	01 00	05 30	1E 00
		上記の表示言語は、一部対応していない場合があります。詳しくは本機のメニュー画面でご確認ください。							
	Get		BE EF	03	06 00	C4 D3	02 00	05 30	00 00
メニュー水平位置	Get		BE EF	03	06 00	04 D7	02 00	15 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	62 D7	04 00	15 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	B3 D6	05 00	15 30	00 00
メニュー水平位置リセット	Execute		BE EF	03	06 00	DC C6	06 00	43 70	00 00
メニュー垂直位置	Get		BE EF	03	06 00	40 D7	02 00	16 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	26 D7	04 00	16 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	F7 D6	05 00	16 30	00 00
メニュー垂直位置リセット	Execute		BE EF	03	06 00	A8 C7	06 00	44 70	00 00
ブランク	Set	マイスクリーン	BE EF	03	06 00	FB CA	01 00	00 30	20 00
		オリジナル	BE EF	03	06 00	FB E2	01 00	00 30	40 00
		青	BE EF	03	06 00	CB D3	01 00	00 30	03 00
		白	BE EF	03	06 00	6B D0	01 00	00 30	05 00
		黒	BE EF	03	06 00	9B D0	01 00	00 30	06 00
	Get		BE EF	03	06 00	08 D3	02 00	00 30	00 00
ブランク オン／オフ	Set	オフ	BE EF	03	06 00	FB D8	01 00	20 30	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	6B D9	01 00	20 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	C8 D8	02 00	20 30	00 00
オートブランク	Set	青	BE EF	03	06 00	67 D1	01 00	0D 30	03 00
		白	BE EF	03	06 00	C7 D2	01 00	0D 30	05 00
		黒	BE EF	03	06 00	37 D2	01 00	0D 30	06 00
	Get		BE EF	03	06 00	A4 D1	02 00	0D 30	00 00
初期画面	Set	マイスクリーン	BE EF	03	06 00	CB CB	01 00	04 30	20 00
		オリジナル	BE EF	03	06 00	0B D2	01 00	04 30	00 00
		表示しない	BE EF	03	06 00	9B D3	01 00	04 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	38 D2	02 00	04 30	00 00

（次ページにつづく）

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
マイスクリーンロック	Set	無効	BE EF	03	06 00	3B EF	01 00	C0 30	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	AB EE	01 00	C0 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	08 EF	02 00	C0 30	00 00
メッセージ	Set	表示しない	BE EF	03	06 00	8F D6	01 00	17 30	00 00
		表示する	BE EF	03	06 00	1F D7	01 00	17 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	BC D6	02 00	17 30	00 00
テンプレート	Set	テストパターン	BE EF	03	06 00	43 D9	01 00	22 30	00 00
		点線 1	BE EF	03	06 00	D3 D8	01 00	22 30	01 00
		点線 2	BE EF	03	06 00	23 D8	01 00	22 30	02 00
		点線 3	BE EF	03	06 00	B3 D9	01 00	22 30	03 00
		点線 4	BE EF	03	06 00	83 DB	01 00	22 30	04 00
		円 1	BE EF	03	06 00	13 DA	01 00	22 30	05 00
		円 2	BE EF	03	06 00	E3 DA	01 00	22 30	06 00
		地図 1	BE EF	03	06 00	83 D4	01 00	22 30	10 00
		地図 2	BE EF	03	06 00	13 D5	01 00	22 30	11 00
		スタック	BE EF	03	06 00	83 C0	01 00	22 30	20 00
	Get		BE EF	03	06 00	70 D9	02 00	22 30	00 00
テンプレート オン／オフ	Set	オフ	BE EF	03	06 00	BF D8	01 00	23 30	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	2F D9	01 00	23 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	8C D8	02 00	23 30	00 00
C.C. ディスプレイ	Set	無効	BE EF	03	06 00	FA 62	01 00	00 37	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	6A 63	01 00	00 37	01 00
		オート	BE EF	03	06 00	9A 63	01 00	00 37	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	C9 62	02 00	00 37	00 00
C.C. モード	Set	キャプション	BE EF	03	06 00	06 63	01 00	01 37	00 00
		テキスト	BE EF	03	06 00	96 62	01 00	01 37	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	35 63	02 00	01 37	00 00
C.C. チャンネル	Set	1	BE EF	03	06 00	D2 62	01 00	02 37	01 00
		2	BE EF	03	06 00	22 62	01 00	02 37	02 00
		3	BE EF	03	06 00	B2 63	01 00	02 37	03 00
		4	BE EF	03	06 00	82 61	01 00	02 37	04 00
	Get		BE EF	03	06 00	71 63	02 00	02 37	00 00
チャンネルスキップ - COMPUTER IN1	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	FE 78	01 00	20 22	00 00
		SKIP	BE EF	03	06 00	6E 79	01 00	20 22	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	CD 78	02 00	20 22	00 00
チャンネルスキップ - COMPUTER IN2	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	CE 79	01 00	24 22	00 00
		SKIP	BE EF	03	06 00	5E 78	01 00	24 22	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	FD 79	02 00	24 22	00 00
チャンネルスキップ - LAN	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	DA 7A	01 00	2B 22	00 00
		SKIP	BE EF	03	06 00	4A 7B	01 00	2B 22	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	E9 7A	02 00	2B 22	00 00
チャンネルスキップ - USB TYPE A	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	76 78	01 00	26 22	00 00
		SKIP	BE EF	03	06 00	E6 79	01 00	26 22	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	45 78	02 00	26 22	00 00
チャンネルスキップ - USB TYPE B	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	AE 7B	01 00	2C 22	00 00
		SKIP	BE EF	03	06 00	3E 7A	01 00	2C 22	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	9D 7B	02 00	2C 22	00 00

（次ページにつづく）

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧（つづき）

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
チャンネルスキップ - HDMI 1	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	BA 78	01 00	23 22	00 00
		SKIP	BE EF	03	06 00	2A 79	01 00	23 22	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	89 78	02 00	23 22	00 00
チャンネルスキップ - HDMI 2	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	52 7A	01 00	2D 22	00 00
		SKIP	BE EF	03	06 00	C2 7B	01 00	2D 22	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	61 7A	02 00	2D 22	00 00
チャンネルスキップ - COMPONENT	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	32 78	01 00	25 22	00 00
		SKIP	BE EF	03	06 00	A2 79	01 00	25 22	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	01 78	02 00	25 22	00 00
チャンネルスキップ - S- VIDEO	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	46 79	01 00	22 22	00 00
		SKIP	BE EF	03	06 00	D6 78	01 00	22 22	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	75 79	02 00	22 22	00 00
チャンネルスキップ - VIDEO	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	02 79	01 00	21 22	00 00
		SKIP	BE EF	03	06 00	92 78	01 00	21 22	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	31 79	02 00	21 22	00 00
オートサーチ	Set	無効	BE EF	03	06 00	B6 D6	01 00	16 20	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	26 D7	01 00	16 20	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	85 D6	02 00	16 20	00 00
オートキーストン（垂直）	Set	無効	BE EF	03	06 00	EA D1	01 00	0F 20	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	7A D0	01 00	0F 20	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	D9 D1	02 00	0F 20	00 00
ダイレクト パワーオン	Set	無効	BE EF	03	06 00	3B 89	01 00	20 31	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	AB 88	01 00	20 31	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	08 89	02 00	20 31	00 00
オート パワーオフ	Get		BE EF	03	06 00	08 86	02 00	10 31	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	6E 86	04 00	10 31	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	BF 87	05 00	10 31	00 00
シェードタイマー	Set	1h	BE EF	03	06 00	27 92	01 00	06 24	01 00
		3h	BE EF	03	06 00	47 93	01 00	06 24	03 00
		6h	BE EF	03	06 00	17 90	01 00	06 24	06 00
	Get		BE EF	03	06 00	84 93	02 00	06 24	00 00
USB TYPE B	Set	マウス	BE EF	03	06 00	FF 23	01 00	50 26	00 00
		USB ディスプレイ	BE EF	03	06 00	6F 22	01 00	50 26	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	CC 23	02 00	50 26	00 00
ランプ時間（下位バイト）	Get		BE EF	03	06 00	C2 FF	02 00	90 10	00 00
ランプ時間（上位バイト）	Get		BE EF	03	06 00	2A FD	02 00	9E 10	00 00
ランプ時間 リセット	Execute		BE EF	03	06 00	58 DC	06 00	30 70	00 00
フィルター時間（下位バイト）	Get		BE EF	03	06 00	C2 F0	02 00	A0 10	00 00
フィルター時間（上位バイト）	Get		BE EF	03	06 00	D6 FC	02 00	9F 10	00 00
フィルター時間 リセット	Execute		BE EF	03	06 00	98 C6	06 00	40 70	00 00

（次ページにつづく）

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
マイボタン -1	Set	スライドショー	BE EF	03	06 00	9A 2B	01 00	00 36	22 00
		マイ イメージ	BE EF	03	06 00	5A 3D	01 00	00 36	16 00
		メッセンジャー	BE EF	03	06 00	AA 29	01 00	00 36	25 00
		シェード	BE EF	03	06 00	5A 26	01 00	00 36	32 00
		インフォメーション	BE EF	03	06 00	FA 3E	01 00	00 36	10 00
		オートキーストン（垂直）実行	BE EF	03	06 00	6A 3F	01 00	00 36	11 00
		マイメモリー	BE EF	03	06 00	9A 3F	01 00	00 36	12 00
		アクティブアイリス	BE EF	03	06 00	AA 3D	01 00	00 36	15 00
		映像モード	BE EF	03	06 00	0A 3E	01 00	00 36	13 00
		フィルターリセット	BE EF	03	06 00	3A 3C	01 00	00 36	14 00
		テンプレート	BE EF	03	06 00	CA 39	01 00	00 36	1B 00
		消音	BE EF	03	06 00	FA 20	01 00	00 36	38 00
		PbyP/PinP 入れ替え	BE EF	03	06 00	5A 38	01 00	00 36	1A 00
		解像度	BE EF	03	06 00	9A 3A	01 00	00 36	1E 00
		エコモード	BE EF	03	06 00	0A 25	01 00	00 36	37 00
		ACCENTUALIZER	BE EF	03	06 00	9A 21	01 00	00 36	3A 00
		ステータスモニター	BE EF	03	06 00	0A 20	01 00	00 36	3B 00
	Get		BE EF	03	06 00	09 33	02 00	00 36	00 00
マイボタン -2	Set	スライドショー	BE EF	03	06 00	66 2A	01 00	01 36	22 00
		マイ イメージ	BE EF	03	06 00	A6 3C	01 00	01 36	16 00
		メッセンジャー	BE EF	03	06 00	56 28	01 00	01 36	25 00
		シェード	BE EF	03	06 00	A6 27	01 00	01 36	32 00
		インフォメーション	BE EF	03	06 00	06 3F	01 00	01 36	10 00
		オートキーストン（垂直）実行	BE EF	03	06 00	96 3E	01 00	01 36	11 00
		マイメモリー	BE EF	03	06 00	66 3E	01 00	01 36	12 00
		アクティブアイリス	BE EF	03	06 00	56 3C	01 00	01 36	15 00
		映像モード	BE EF	03	06 00	F6 3F	01 00	01 36	13 00
		フィルターリセット	BE EF	03	06 00	C6 3D	01 00	01 36	14 00
		テンプレート	BE EF	03	06 00	36 38	01 00	01 36	1B 00
		消音	BE EF	03	06 00	06 21	01 00	01 36	38 00
		PbyP/PinP 入れ替え	BE EF	03	06 00	A6 39	01 00	01 36	1A 00
		解像度	BE EF	03	06 00	66 3B	01 00	01 36	1E 00
		エコモード	BE EF	03	06 00	F6 24	01 00	01 36	37 00
		ACCENTUALIZER	BE EF	03	06 00	66 20	01 00	01 36	3A 00
		ステータスモニター	BE EF	03	06 00	F6 21	01 00	01 36	3B 00
	Get		BE EF	03	06 00	F5 32	02 00	01 36	00 00

（次ページにつづく）

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧（つづき）

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティングコード
マイボタン -3	Set	スライドショー	BE EF	03	06 00	22 2A	01 00	02 36	22 00
		マイ イメージ	BE EF	03	06 00	E2 3C	01 00	02 36	16 00
		メッセンジャー	BE EF	03	06 00	12 28	01 00	02 36	25 00
		シェード	BE EF	03	06 00	E2 27	01 00	02 36	32 00
		インフォメーション	BE EF	03	06 00	42 3F	01 00	02 36	10 00
		オートキーストン（垂直）実行	BE EF	03	06 00	D2 3E	01 00	02 36	11 00
		マイメモリー	BE EF	03	06 00	22 3E	01 00	02 36	12 00
		アクティブアイリス	BE EF	03	06 00	12 3C	01 00	02 36	15 00
		映像モード	BE EF	03	06 00	B2 3F	01 00	02 36	13 00
		フィルターリセット	BE EF	03	06 00	82 3D	01 00	02 36	14 00
		テンプレート	BE EF	03	06 00	72 38	01 00	02 36	1B 00
		消音	BE EF	03	06 00	42 21	01 00	02 36	38 00
		PbyP/PinP 入れ替え	BE EF	03	06 00	E2 39	01 00	02 36	1A 00
		解像度	BE EF	03	06 00	22 3B	01 00	02 36	1E 00
		エコモード	BE EF	03	06 00	B2 24	01 00	02 36	37 00
		ACCENTUALIZER	BE EF	03	06 00	22 20	01 00	02 36	3A 00
		ステータスモニター	BE EF	03	06 00	B2 21	01 00	02 36	3B 00
	Get		BE EF	03	06 00	B1 32	02 00	02 36	00 00
マイボタン -4	Set	スライドショー	BE EF	03	06 00	DE 2B	01 00	03 36	22 00
		マイ イメージ	BE EF	03	06 00	1E 3D	01 00	03 36	16 00
		メッセンジャー	BE EF	03	06 00	EE 29	01 00	03 36	25 00
		シェード	BE EF	03	06 00	1E 26	01 00	03 36	32 00
		インフォメーション	BE EF	03	06 00	BE 3E	01 00	03 36	10 00
		オートキーストン（垂直）実行	BE EF	03	06 00	2E 3F	01 00	03 36	11 00
		マイメモリー	BE EF	03	06 00	DE 3F	01 00	03 36	12 00
		アクティブアイリス	BE EF	03	06 00	EE 3D	01 00	03 36	15 00
		映像モード	BE EF	03	06 00	4E 3E	01 00	03 36	13 00
		フィルターリセット	BE EF	03	06 00	7E 3C	01 00	03 36	14 00
		テンプレート	BE EF	03	06 00	8E 39	01 00	03 36	1B 00
		消音	BE EF	03	06 00	BE 20	01 00	03 36	38 00
		PbyP/PinP 入れ替え	BE EF	03	06 00	1E 38	01 00	03 36	1A 00
		解像度	BE EF	03	06 00	DE 3A	01 00	03 36	1E 00
		エコモード	BE EF	03	06 00	4E 25	01 00	03 36	37 00
		ACCENTUALIZER	BE EF	03	06 00	DE 21	01 00	03 36	3A 00
		ステータスモニター	BE EF	03	06 00	4E 20	01 00	03 36	3B 00
	Get		BE EF	03	06 00	4D 33	02 00	03 36	00 00

（次ページにつづく）

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティングコード
リモコン受光部 - 前面	Set	Off	BE EF	03	06 00	FF 32	01 00	00 26	00 00
		On	BE EF	03	06 00	6F 33	01 00	00 26	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	CC 32	02 00	00 26	00 00
リモコン受光部 - 背面	Set	Off	BE EF	03	06 00	03 33	01 00	01 26	00 00
		On	BE EF	03	06 00	93 32	01 00	01 26	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	30 33	02 00	01 26	00 00
リモコン周波数 - 標準	Set	無効	BE EF	03	06 00	FF 3D	01 00	30 26	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	6F 3C	01 00	30 26	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	CC 3D	02 00	30 26	00 00
リモコン周波数 - 高	Set	無効	BE EF	03	06 00	03 3C	01 00	31 26	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	93 3D	01 00	31 26	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	30 3C	02 00	31 26	00 00
リモコン ID	Set	ALL	BE EF	03	06 00	9F 30	01 00	08 26	00 00
		1	BE EF	03	06 00	0F 31	01 00	08 26	01 00
		2	BE EF	03	06 00	FF 31	01 00	08 26	02 00
		3	BE EF	03	06 00	6F 30	01 00	08 26	03 00
		4	BE EF	03	06 00	5F 32	01 00	08 26	04 00
	Get		BE EF	03	06 00	AC 30	02 00	08 26	00 00
マイ イメージ	Set	オフ	BE EF	03	06 00	3A C3	01 00	00 35	00 00
		画像 -1	BE EF	03	06 00	AA C2	01 00	00 35	01 00
		画像 -2	BE EF	03	06 00	5A C2	01 00	00 35	02 00
		画像 -3	BE EF	03	06 00	CA C3	01 00	00 35	03 00
		画像 -4	BE EF	03	06 00	FA C1	01 00	00 35	04 00
	Get		BE EF	03	06 00	09 C3	02 00	00 35	00 00
マイ イメージ消去 画像 -1	Execute		BE EF	03	06 00	71 C3	06 00	01 35	00 00
マイ イメージ消去 画像 -2	Execute		BE EF	03	06 00	35 C3	06 00	02 35	00 00
マイ イメージ消去 画像 -3	Execute		BE EF	03	06 00	C9 C2	06 00	03 35	00 00
マイ イメージ消去 画像 -4	Execute		BE EF	03	06 00	BD C3	06 00	04 35	00 00

PJLink™

本機は、PJLink™ の Class 1 に適合しています。
PJLink™ プロトコルを使用してプロジェクターを制御するには、下表をご参照ください。

コマンド	制御説明	送信 又は 回答パラメータ
POWR	パワーオン／オフ	0 = スタンバイ 1 = パワー（ランプ）オン
POWR ?	パワーステータス確認	0 = スタンバイ 1 = パワー（ランプ）オン 2 = 冷却動作中
INPT	入力信号切替	11 = COMPUTER IN1 12 = COMPUTER IN2 21 = COMPONENT 22 = S-VIDEO 23 = VIDEO 31 = HDMI 1 33 = HDMI 2 41 = USB TYPE A 51 = LAN 52 = USB TYPE B
INPT ?	受信信号確認	11 = COMPUTER IN1 12 = COMPUTER IN2 21 = COMPONENT 22 = S-VIDEO 23 = VIDEO 31 = HDMI 1 33 = HDMI 2 41 = USB TYPE A 51 = LAN 52 = USB TYPE B
AVMT	AV ミュート	10 = ブランクオフ（通常画面表示） 11 = ブランク画面表示 20 = 消音オフ（通常音声出力） 21 = 消音 30 = AV ミュートオフ（通常画面表示、音声出力） 31 = AV ミュートオン
AVMT ?	AV ミュート状態確認	10 = ブランクオフ中（通常画面表示中） 11 = ブランク画面表示中 20 = 消音オフ中（通常音声出力中） 21 = 消音中 30 = AV ミュートオフ中（通常画面表示、音声出力中） 31 = AV ミュートオン中

（次ページにつづく）

コマンド	制御説明	送信 又は 回答パラメータ
ERST?	エラーステータス確認	6byte の回答コードが返されます。 回答コードの各エラーステータスは以下の通りです。 0 = 正常　1 = 警告　2 = エラー 1st byte : ファンエラー 2nd byte : ランプエラー 3rd byte : 温度エラー 4th byte : ランプカバーエラー 5th byte : フィルターエラー 6th byte : その他のエラー
LAMP ?	ランプステータス確認	1 データ目（5 桁）: ランプ使用時間（0 ~ 99999 時間） 2 データ目 : 0 = ランプ消灯中、1 = ランプ点灯中
INST ?	入力端子確認	11 12 21 22 23 31 33 41 51 52 ※本機の入力端子が回答されます。
NAME ?	プロジェクター名確認	「ネットワーク」メニューの「プロジェクター名」（📖**2-41**）で設定した、本機の名前が回答されます。
INF1 ?	製造者名	HITACHI
INF2 ?	機種名確認	CP-X8170 CP-WX8265 CP-WU8460 ※ご使用のプロジェクターの機種名（形名）が回答されます。
INFO ?	その他の情報確認	※工場調節などに関する情報が回答されます。
CLSS ?	クラス情報確認	1

技術情報編

お知らせ

● PJLink™ はデータプロジェクターを操作・管理するための統一規格です。PJLink™ の仕様については PJLink™ の Web サイトをご覧ください。

URL: http://pjlink.jbmia.or.jp/

● PJLink™ のパスワードは、プロジェクター Web コントロールの“セキュリティ設定”（📖**3-27**）で設定した認証パスワードと共用です。PJLink™ を認証なしで使用する場合は、認証パスワードを設定しないでください。

故障かなと思ったら

⚠ 警告

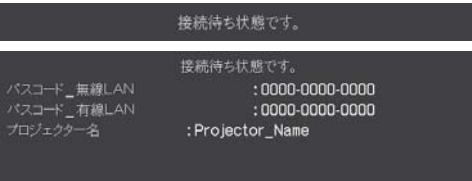
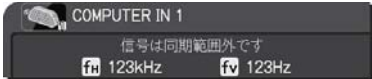
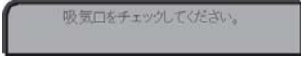
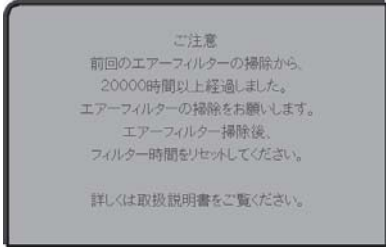
●異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く
煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする、などの異常が発生した場合は、すぐに電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。その後、煙やにおい、音などが止まったことを確認し、販売店にご連絡ください。

●次のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店に相談する
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
また、**お客様による修理は危険ですので絶対におやめ**ください。
▶内部に異物や液体（金属や水）が入った
▶落とした、強い衝撃をあたえた
▶本機や接続している電源コードやケーブル類に損傷がある

ご使用のまえに、必ず「正しくお使いいただくために」（📖**1-2～10)** をお読みください。
異常が発生した場合は、すぐに電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。
その他の問題が起きた場合は、修理を依頼される前に、以下の「一括して初期設定にもどす」（📖 **下記**）、「メッセージ表示」（📖**4-38, 39**）、「インジケータ表示」（📖**4-40～42**）、「故障と間違えやすい現象について」（📖**4-43～46**）をご確認いただき、必要と思われる処置を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、販売店またはお客様ご相談窓口（📖 **巻末**）にご相談ください。

お知らせ
●何らかのエラーが起きると、ステータスモニターにその内容が表示されます。エラーの表示内容については、「ステータスモニター」（📖**1-34**）をご参照ください。

一括して初期設定にもどす

誤って本機のメニュー設定を行い、元に戻せなくなったときには、一括初期化機能をご使用ください。
「その他」メニューの「特別な設定」－「工場出荷設定」（📖**2-35**）で「OK」を選択すると、メニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。

お知らせ
●マイスクリーンパスワード（📖**2-46**）が設定されていない場合は、マイスクリーン画像もクリアされます。
●マイスクリーンパスワードが設定されている場合は、「初期画面」、「マイスクリーンロック」は初期化されません。
●「ランプ時間」、「フィルター時間」、「フィルター掃除通知」、および「表示言語」、また「セキュリティ」メニューの各項目は、一括初期化機能では初期化されません。「ランプ時間」、「フィルター時間」、「フィルター掃除通知」を初期化するには、個別に **RESET** ボタンを押すなどの初期化操作を行ってください。

技術情報編

メッセージ表示

本機の電源を入れたときに、下表のようなメッセージが表示されることがあります。メッセージが表示されたら下表に従って処置してください。処置後も同じメッセージが表示されたり、下表に記載されていないメッセージが表示された場合は、販売店にご相談ください。

メッセージ	内　容
COMPUTER IN 1 信号が入力されていません	入力信号が見つかりません。以下のことをご確認ください。 ・信号ケーブルやコネクタは正しく接続されていますか？（📖1-20～24） ・信号源（DVD プレーヤ、コンピュータなど）は正しく動作していますか？
USB DISPLAYが無効になっています。 USB TYPE Bの設定をUSB DISPLAYに変更してください。	USB TYPE B 端子が映像信号の入力端子として選択されているのに、簡易簡易マウス／キーボード用接続端子として設定されています。「その他」メニューの「USB TYPE B」（📖2-26）で「USB ディスプレイ」を選択してください。 簡易マウス／キーボード機能を使用する場合は、他の映像入力端子を選択してください。
接続待ち状態です。 接続待ち状態です。 パスコード_無線LAN :0000-0000-0000 パスコード_有線LAN :0000-0000-0000 プロジェクター名 :Projector_Name	本機は画像データを待っている状態です。外部機器との接続、本機の設定と、ネットワーク関連の設定を確認してください。 コンピュータと本機のネットワーク接続が切断されている場合は、再接続してください。
COMPUTER IN 1 信号は同期範囲外です fH 123kHz　fV 123Hz	入力されている信号の水平または垂直周波数は本機の対応範囲外です。以下のことをご確認ください。 ・入力している信号は本機の仕様（📖4-2, 3）に合っていますか？ ・信号源（DVD プレーヤ、コンピュータなど）は正しく動作していますか？
COMPUTER IN 1 入力信号が不安定です	入力信号の水平又は垂直周波数が安定していません。 以下のことをご確認ください。 ・入力している信号は本機の仕様（📖4-2, 3）に合っていますか？ ・信号ケーブルやコネクタは正しく接続されていますか？（📖1-20～24） ・信号源（DVD プレーヤ、コンピュータなど）は正しく動作していますか？ 信号入力切替機を介して信号源と本機を接続している場合は、信号源と本機を直接接続してみてください。左記のメッセージが表示されなくなる場合は、ご使用の信号入力切替機の仕様をご確認ください。

（次ページにつづく）

メッセージ	内　容
吸気口をチェックしてください。	本機内部の温度が上がりすぎているか、短期間に大きく上昇、下降した可能性があります。すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20 分以上冷ましてから、以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・吸気口、排気口はふさがっていませんか？（📖1-7, 12） ・エアーフィルターは汚れていませんか？（📖1-51, 52） ・周囲温度が仕様（0～45℃）を超えていませんか？ ・エアコンなどの風が本機にあたっていませんか？ ・「その他」メニューの「特別な設定」ー「高地モード」（📖2-29）が正しく設定されていますか？ 「高地モード」を誤った設定のままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。 ・周辺機器から排気される空気（熱気または冷気）が、プロジェクターの吸気口にあたっていませんか？
ご注意 前回のエアーフィルターの掃除から、 20000時間以上経過しました。 エアーフィルターの掃除をお願いします。 エアーフィルター掃除後、 フィルター時間をリセットしてください。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。	エアーフィルターのお手入れ時期です。すぐに電源を切って電源プラグを抜いてください。しばらく待って十分冷ましてから、エアーフィルターを掃除または交換（📖1-51, 52）し、もう一度電源を入れてください。 エアーフィルターを掃除または交換したら、「簡単メニュー」の「フィルター時間」（📖2-5）を使って、忘れずにフィルター時間を初期化してください。
操作できないボタンが入力されました。	無効なボタンが押されました。ご利用になるボタンを再度確認してください。 以下の場合には、有効なボタンを押した場合でも、ボタンは動作せず、このメッセージが表示される場合があります。 ・レンズが移動中（ズーム、フォーカス、レンズシフト） ・「その他」メニューの「チャンネルスキップ」で「スキップ」を設定された端子を選択するボタンを押した場合

インジケータ表示

POWER、TEMP、LAMP インジケータ

POWER、TEMP、LAMP インジケータの点灯や点滅には下表のような意味があります。なんらかの問題がある場合は下表に従って処置してください。処置後もインジケータが同様に点灯、点滅したり、下表に記載されていない点灯や点滅が見られた場合は、販売店にご相談ください。

POWER インジケータ	TEMP インジケータ	LAMP インジケータ	内　容
橙色の点灯	消　灯	消　灯	本機はスタンバイ状態です。 この状態で電源を入れる（ランプを点灯させる）または電源プラグを抜くことができます。（📖1-36, 37）
緑色の点滅	消　灯	消　灯	本機はウォームアップ (ランプ点灯動作) 中です。 POWER インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。
緑色の点灯	消　灯	消　灯	本機は通常の動作状態です。
橙色の点滅	消　灯	消　灯	本機は冷却動作中です。 POWER インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。
赤色の点滅	ー	ー	不具合が見つかったため、本機は冷却動作中です。 POWER インジケータの点滅が止まるまでお待ちになり、TEMP、LAMP インジケータの状態により、以下に従って処置してください。
赤色の点灯 または *赤色の点滅*	消　灯	赤色の点灯	ランプが点灯しない、または本機内部の温度が上がりすぎている可能性があります。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20 分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてから以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・吸気口、排気口はふさがっていませんか？（📖1-7, 12） ・エアーフィルターは汚れていませんか？（📖1-51, 52） ・周囲温度が仕様（0～45℃）を超えていませんか？ ・エアコンなどの風が本機にあたっていませんか？ ・ランプは正しく取り付けられていますか？ 再度電源を入れたときにインジケータ表示が変わらない場合は、ランプを交換してください。（📖1-49, 50）
赤色の点灯 または *赤色の点滅*	消　灯	*赤色の点滅*	ランプまたはランプカバーがはずれているか、取付けが不完全です。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、45 分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてからランプまたはランプカバーの取付け状態（📖1-50）をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。

（次ページにつづく）

POWER インジケータ	TEMP インジケータ	LAMP インジケータ	内　容
赤色の点灯 または *赤色の点滅*	***赤色の点滅***	**消　灯**	冷却ファンが動作していません。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20 分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてから以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・ファンに異物がはさまったりしていませんか？ ・本機の周辺に磁気を発生するものがありませんか？
赤色の点灯 または *赤色の点滅*	**赤色の点灯**	**消　灯**	本機内部の温度が上がりすぎている可能性があります。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20 分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてから以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・吸気口、排気口はふさがっていませんか？（📖**1-7, 12**） ・エアーフィルターは汚れていませんか？（📖**1-51, 52**） ・周囲温度が仕様（0～45℃）を超えていませんか？ ・「その他」メニューの「特別な設定」ー「高地モード」（📖**2-29**）が正しく設定されていますか？ 「高地モード」を誤った設定のままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。 ・周辺機器から排気される空気（熱気または冷気）が、プロジェクターの吸気口にあたっていませんか？
緑色の点灯	LAMP インジケータと TEMP インジケータが 同時に*赤色の点滅*		エアーフィルターが汚れている可能性があります。エアーフィルターのお手入れ時期です。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待って冷ましてください。本機が十分に冷えてからエアーフィルターを掃除または交換（📖**1-51, 52**）してください。 エアーフィルターを掃除または交換したら、「簡単メニュー」の「フィルター時間」（📖**2-5**）を使って、忘れずにフィルター時間を初期化してください。
緑色の点灯	LAMP インジケータと TEMP インジケータが 交互に*赤色の点滅*		内部温度が下がりすぎている可能性があります。 仕様範囲内の温度環境（📖 **上記**）でご使用ください。本機の電源を切り、周囲の気温をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。
緑色の点灯 （約 3 秒 間隔）	**消　灯**	**消　灯**	“電源 オン”スケジュールが設定されています。 詳細は【ネットワーク編】「スケジュール設定」（📖**3-24，25**）をご参照ください。

お知らせ

●内部温度が上がりすぎたり、ランプやランプカバーの取付けが不完全な場合など、安全のため、自動的に電源が切れることがあります。このときインジケータが全て消灯することがあります。この場合はすぐに電源コードを抜いて、45 分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてからランプおよびランプカバーの取り付け状態（📖**1-50**）をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。

SECURITY インジケータ

「セキュリティ」メニューの「セキュリティインジケータ」（📖2-50）が有効に設定されていると、暗証コードロック機能、または状態監視機能のいずれかが有効の場合、本機がスタンバイ状態のときに黄色に点滅します。
詳細は、「セキュリティメニュー」、および「セキュリティメニュー」の「セキュリティインジケータ」をご参照ください。

SHADE インジケータ

レンズシェードが閉じている間、黄色に点滅します。レンズシェードについての詳細は、「映像、音声を隠す」（📖1-48）をご参照ください。

FILTER インジケータ

エアーフィルターのお手入れの時期を、下表のように色でお知らせします。

FILTER	内　容
緑色の点灯	エアーフィルターはまだお掃除の必要はありません。
橙色の点灯	エアーフィルターが詰まりかけています。 できるだけ早くフィルターのお手入れをお願いします。 本機内部の温度が上がりすぎている可能性があります。（📖4-41）
赤色の点灯	エアーフィルターが目詰まりを起こしています。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、本機が十分に冷えてからエアーフィルターを掃除または交換（📖1-51, 52）してください。 本機内部の温度が上がりすぎている可能性があります。（📖4-41）

お知らせ

- 吸気口の前に障害物などがあり、十分に本機内部に空気が流れ込まなくなると、エアーフィルターのお手入れがまだ必要でなくても、FILTER インジケータが橙色、あるいは赤色に点灯する場合があります。
- FILTER インジケータの表示色が、その他のインジケータや画面に表示されるメッセージなどと状況が一致しない場合があります。その場合は、先に表示されたものに従ってください。

故障と間違えやすい現象について

以下のような現象は故障ではない場合があります。
修理をご依頼になるまえに、下表に従ってご確認のうえ、必要に応じて処置してください。ネットワーク機能に関しての問題は、【ネットワーク編】「トラブルシューティング」（📖3-58, 59）を、ご確認ください。処置後も現象が改善しない場合は販売店にご相談ください。

現　象	確認内容	参考頁
電源が入らない	電源コードは正しく接続されていますか？ 電源コードの接続状態を確認し、正しく接続してください。	📖1-26, 27
	停電などで、動作中に電源が切れませんでしたか？ その場合は電源コードを抜いて 10 分以上待って冷まし、もう一度電源を入れてください。	📖1-26, 27 📖1-36
	ランプおよびランプカバーは正しく取付けられていますか？ すぐに電源コードを抜いて 45 分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてからランプおよびランプカバーの取付け状態をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。	📖1-36 📖1-50
映像も音声も出ない	信号ケーブルまたは USB デバイスは正しく接続されていますか？ 各接続状態を確認し、正しく接続してください。	📖1-20 ～ 24
	信号源（DVD プレーヤ、コンピュータなど）は正しく動作していますか？ 信号源の電源や設定を確認してください。	−
	信号が入力されている端子を選んでいますか？ 映像信号を選択しなおしてください。	📖1-42
	AV ミュート機能が働いていませんか？ AV MUTE ボタンを押して確認してください。	📖1-48
	＜ USB TYPE B 端子選択時＞ 「USB TYPE B」で「マウス」が選択されていませんか？ 「その他」メニューの「USB TYPE B」を「USB ディスプレイ」に設定してください。または、他の映像入力端子を選択してください。	📖2-26
	＜ USB TYPE B 端子選択時＞ 電源からのノイズにより、USB TYPE B 端子が映像の入力端子として認識されていない可能性があります。いったん「その他」メニューの「USB TYPE B」を「マウス」に設定した後、再度「USB ディスプレイ」を選択しなおしてください。	📖2-26
	＜ USB TYPE A 端子選択時＞ USB TYPE A 端子に USB メモリはきちんと接続されていますか？ 本機が USB メモリを認識できていない可能性があります。サムネイルメニューから「USB メモリ取外し」を実行し、一度 USB メモリを外してから、再度 USB TYPE A 端子に接続してください。	📖2-57 📖1-23
	＜ HDMI 1 ／ 2 端子選択時＞ 本機、および HDMI® 出力機器がお互いを認識していない可能性があります。一度、本機及び HDMI® 出力機器の電源を切り、再度電源を入れてみてください。	📖1-20, 21 📖1-36
	＜ HDMI 1 ／ 2 端子選択時＞ 本機が対応していない HDMI® 信号が入力されていませんか？ ご使用の HDMI® 出力機器の設定をご確認ください。	📖4-6

（次ページにつづく）

故障と間違えやすい現象について（つづき）

現　象	確認内容	参考頁
映像は出るが 音声が出ない	音声信号は正しく接続されていますか？ 信号ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。	📖1-20～24
	音量が小さく調節されていませんか？ 音量を調節して大きくしてください。	📖1-38
	音声を消していませんか？ VOL ＋／－ボタンを押してみてください。	📖1-38
	音声信号の入力端子が正しく設定されていますか？ 「オーディオ」メニューの「音声入力設定」の設定を確認してください。	📖2-19
	サウンドボタン／チェックボックスを無効に設定していませんか？ < USB TYPE A 端子選択時> サムネイルメニューのサウンドボタン［♪］で、音声を有効に設定してください。 < USB TYPE B 端子選択時> “LiveViewer Lite for USB”のオプションメニューで、サウンドチェックボックスにチェックマークを入れてください。 < LAN 端子選択時> “LiveViewer”のオプションメニューで、サウンドチェックボックスにチェックマークを入れてください。	📖2-57 📖2-65
音声は出るが 映像が出ない	信号ケーブルは正しく接続されていますか？ 信号ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。	📖1-20～24
	画面の明るさが極端に暗く調節されていませんか？ 「映像」メニューの「明るさ」を調節して明るくしてください。	📖2-6
	< COMPUTER IN1 端子選択時> 接続しているコンピュータがプラグ＆プレイ・モニタを検知できますか？ 他のプラグ･アンド･プレイ･モニタを使用して、コンピュータがプラグ･アンド・プレイ・モニタを検知することができるか確認してください。	📖1-20
	レンズシェードが閉じていませんか？ SHADE インジケータが点滅していないか確認してください。SHADE インジケータが点滅している場合は、操作パネルの SHADE ボタンを押してください。	📖1-48
映像が動かない （静止している）	FREEZE ボタンで映像を静止させていませんか？ FREEZE ボタンを押して確認してください。	📖1-47
色が薄い、 色あいが悪い	色の濃さや色あいが正しく調節されていますか？ 「映像」メニューの「色の濃さ」、「色あい」を調節してください。	📖2-7
	色空間、信号方式は正しく選択されていますか？ 「入力」メニューの「色空間」、「ビデオフォーマット」の設定を変更してください。	📖2-12 📖2-13

（次ページにつづく）

現　象	確認内容	参考頁
映像が暗い	画面の明るさやコントラストが暗く設定されていませんか？ 「映像」メニューの、「明るさ」、「コントラスト」を調節して明るくしてください。	📖2-6
	エコモードが設定されていませんか？ 「設置」メニューの「エコモード」を「ノーマル」に、「オートエコモード」を「オフ」にして設定してご使用ください。	📖2-17
	ランプが寿命に近づいていませんか？ ランプを交換してください。	📖1-49, 50
映像がぼやける、 もやがかかってみえる、 映像周辺が明るい	レンズカバーは外れていますか？ レンズカバーを外してください。	📖1-11
	フォーカス、クロック位相は調節されていますか？ フォーカス、および「表示」メニューの「クロック位相」を調節してください。	📖1-38 📖2-10
	レンズが汚れたり、くもったりしていませんか？ レンズをお手入れしてください。	📖1-53
ちらつきや縞模様など、 画像ノイズが現れる、 映像が乱れる	「エコ」モードで使用していませんか？ 「エコ」モードでのご使用中には、ちらつきが発生する場合があります。気になる場合は、「設置」メニューの「エコモード」を「ノーマル」に、「オートエコモード」を「オフ」に設定してご使用ください。	📖2-17
	「オーバースキャン」を大きく設定しすぎていませんか？ 「表示」メニューで「オーバースキャン」を調節し直してください。	📖2-9
	「VIDEO NR」を強く設定していませんか？。 「入力」メニューで「VIDEO NR」を「中」か「弱」に設定してみてください。	📖2-12
	フレームロック機能を有効にしていますか？ 信号によっては、フレームロック機能が動作しない場合があります。「入力」メニューで、選択している入力端子の「フレームロック」を「無効」にしてみてください。	📖2-15
音声、および映像が 乱れる、または とぎれとぎれになる	< USB TYPE A、USB TYPE B、LAN 端子選択時> 信号処理に遅延が発生し、データの一部が欠落してしまっている可能性があります。入力している信号を変更するか、または他の端子を使用してください。	📖1-42 📖2-19
リモコンが効かない	リモコンの電池が消耗していませんか？ リモコンの電池を交換してください。	📖1-29
	リモコンに設定した ID 番号と、「リモコン ID」の設定が合っていますか？ 「その他」メニューの「リモコン ID」で設定した ID 番号の、ID ボタンを押してください。	📖1-30 📖2-31
スタンバイ時、 - RS-232C 通信ができない - ネットワークに接続できない -MONITOR OUT 端子、AUDIO OUT 端子から信号が出力されない	「スタンバイモード」が「省電力」モードに設定されていませんか？ 「設置」メニューの「スタンバイモード」を「通常」に設定してください。	📖2-17

（次ページにつづく）

技術情報編

故障と間違えやすい現象について（つづき）

現　象	確認内容	参考頁
本機を動かした時、内部からパタパタ音がする	本機の設置姿勢に合わせて、内部で気流の経路切り替えを行うフラップが動く音です。故障や不具合ではありません。	―
RS-232C 通信ができない	「通信タイプ」が「ネットワークブリッジ」に設定されていませんか？ 「その他」メニューの「特別な設定」ー「通信設定」－「通信タイプ」を「オフ」に設定してください。	📖2-32
ネットワークブリッジで通信できない	「通信タイプ」が「オフ」に設定されていませんか？ 「その他」メニューの「特別な設定」ー「通信設定」から「通信タイプ」を「ネットワークブリッジ」に設定してください。	📖2-32
本機の USB TYPE B 端子と接続したコンピュータが起動しない	本機とコンピュータの接続が障害になっている可能性があります。 一度、USB ケーブルをコンピュータから抜き、コンピュータを起動してから、再度ケーブルを接続してください。	―
本機をネットワークに接続すると、POWER インジケータが点灯／消灯を繰り返し、操作ができない	2 つ以上のスイッチングハブをご使用の場合、2 本以上の LAN ケーブルでハブ間を接続していませんか？ スイッチングハブ間でループが形成され、本機のマイコンが正常処理を実行できなくなっています。スイッチングハブ間は一本の LAN ケーブルで接続してください。	―

お知らせ

- ●画面中に輝点や黒点がみられることがありますが、これは液晶特有の現象であり、故障ではありません。
- ●静止画、動きの少ない映像や液晶パネルの仕様と異なる縦横比（16：9 など）の映像を長時間または繰り返し投映すると、液晶パネルが焼きついて残像が残ることがあります。この場合は白画面（白い無地の映像）を 1 時間以上投映し続けるか、または電源を切って数時間放置してください。白画面表示には、AV ミュート機能（📖**1-48, 2-19**）をご利用ください。

ソフトウェアのライセンス情報

プロジェクターに組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアモジュールで構成され、個々のソフトウェアモジュールは、それぞれに弊社または第三者の著作権が存在します。

プロジェクターには、弊社自身が開発または作成したソフトウェアモジュールも含んでいますが、これらのソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント等には、弊社の所有権および知的財産権が存在します。これらについては、著作権法その他の法律により保護されています。

また、プロジェクターには、米国Free Software Foundation, Inc. が定めたソフトウェア使用許諾契約書（GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 及びGNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1）、または各ソフトウェアの使用許諾契約書に基づきフリーソフトウェアとして使用許諾されるソフトウェアモジュールを使用しています。

対象となるソフトウェアモジュール、及びその他のソフトウェアの使用許諾契約書につきましては、以下のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス：http://av.hitachi.com/projector/index.html

また、ライセンスソフトウェアにつきましては各地域のディーラーにお問い合わせください。

当該ソフトウェアモジュールの使用条件等の詳細につきましては、後に記載する各ソフトウェア使用許諾契約書（別紙）、及びホームページに記載した各ソフトウェアの使用許諾契約書をお読みください（弊社以外の第三者による規定であるため、原文（英文）を掲載いたします）。

当該ソフトウェアモジュールについては、弊社以外に、別途著作権者その他の権利を有する者がおり、かつ、無償での使用許諾ですので、現状のままでの提供であり、また、適用法令の範囲内で一切保証（明示するもの、しないものを問いません）をしないものとします。また、弊社は、当該ソフトウェアモジュール及びその使用に関して生じたいかなる損害（データの消失、正確さの喪失、他のプログラムとのインタフェースの不適合化等も含まれます）についても、適用法令の範囲内で一切責任を負わず、費用負担をいたしません。

ソフトウェアモジュールに関する ソフトウェア使用許諾契約書原文（英文）

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright © 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language.
(Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".
Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machin-ereadablesource code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be torefrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable underany particular circumstance, the balance of the section is intended toapply and the section as a whole is intended to apply in othercircumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING,REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or
modify it under the terms of the GNU General Public License as
published by the Free Software Foundation; either version 2 of the
License, or (at your option) any later version.
This program is distributed in the hope that it will be useful, but
WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of
MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.
See the GNU General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU General Public License
along with this program; if not, write to the Free Software Foundation,
Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for
details type `show w'. This is free software, and you are welcome to
redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program. You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing nonfree programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries.
In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in nonfree programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/ Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library".The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)
"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful. (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If dentifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machinereadable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

技術情報編

About the OpenSSL Toolkit

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/).
Copyright© 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS
INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

保証とアフターサービスについて（必ずお読みください。）

修理を依頼されるときは（出張修理）

【ネットワーク編】「トラブルシューティング」（📖3-58, 59）、【技術情報編】「故障かなと思ったら」（📖4-37～46）に従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証書

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめください。内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間については保証書をご覧ください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にお問い合わせください。

補修用性能部品保有期間

補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後６年です。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	液晶プロジェクター
本体形名	CP-X8170J、CP-WX8265J、CP-WU8460J (CP-X8170、CP-WX8265、CP-WU8460)
お買上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
梱包材の有無	輸送いただく場合はお買い上げ時の梱包材をお使いください。梱包材が損傷していたり廃棄または紛失した場合はお知らせください。
ご　住　所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話（　　）	年　月　日

長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリ、煙草の煙などの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか

- ●電源を入れても映像が出ない。
- ●映像が時々、消えることがある。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●電源を切っても、映像が消えない。
- ●内部に水や異物が入った。
- ●ランプが破裂した。

ご使用中止

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ
なお、転居されたり、贈り物で頂いたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87
（受付時間）
日曜・祝日／ 9:00 ～ 17:30
平日／ 9:00 ～ 19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL 0120-3121-19
FAX 0120-3121-34
（受付時間） 9:00 ～ 17:30
携帯電話、PHS からもご利用できます。（日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。）

●本窓口等で取得致しましたお客様の個人情報は、お客様のご相談及びサポート等への対応を目的として利用し、適切に管理します。
●お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確に回答するために通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
※弊社の「個人情報保護方針」は、下記をご参照下さい。
URL　http://www.maxell.co.jp/jpn/privacy.html

お知らせ

●この製品は日本国内専用に設計されていますので、日本国外ではご使用にならないでください。この製品の保証書は日本国内でのみ有効です。また有償／無償にかかわらず、日本国外でご使用の場合には、修理等のご依頼に応じることができませんのでご了承ください。
This product (including the accessories) is designed for use in Japan only, and cannot be used in any other countries. The warranty appended to this product is void out of Japan. For use out of Japan, we will not accept paid or free requests such as the repair.

商標について：

- Microsoft®、Internet Explorer®、Windows®、Wndows Vista® は、米国またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。
- Mac® は Apple Inc. の登録商標です。
- Adobe® および Flash® は、Adobe Systems Incorporated の登録商標です。
- VESA および DDC(DDC/CI) は Video Electronics Standards Association の商標です。
- HDMI®、HDMI® ロゴ及び High-Definition Multimedia Interface® は、HDMI Licensing LLC の米国およびその他の国における商標又は登録商標です。
- PJLink ロゴは、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- Blu-ray™ および Blu-ray Disc™ は Blu-ray Disc Association の商標です。

その他の社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

プロジェクターソフトウェアのライセンス情報について：

- プロジェクターに組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアモジュールで構成され、個々のソフトウェアモジュールは、それぞれに弊社または第三者の著作権が存在します。
- 取扱説明書 CD-ROM 内の、「ソフトウェアのライセンス情報」を必ずお読みください。

日立マクセル株式会社
〒 244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地　TEL 050-3033-5963（直通）

QR84531
Printed in China